

平成 29 年度  
「結婚等に関する県民意識調査」  
報 告 書

平成 30 年 3 月

富 山 県

◆ この冊子のみかた ◆

1. 結果は百分比で表示した。その百分率は小数点第2位を四捨五入した。したがって個々の比率の合計と全体を示す数値と一致しないことがある。
2. 図表中に「N」と記してあるのは、質問に対する回答者総数で、回答比率（%）が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
3. 図表中に「M. T. (MultipleTotal)」と記してあるのは、1つの質問に対して2つ以上の回答（複数回答）を求めた場合の回答数の合計を回答者数（N）で割った比率であり、その値は100%を超える。
4. 図表中に「NA」と記してあるのは、回答しなかった人の百分率を示している。



# 1. 調査の概要

## (1) 調査の目的

本県でも全国と同様に未婚化、晩婚化が進行し、出生率低下の要因の一つとなっている。一方で、未婚者の多くは結婚を望んでおり、県としても結婚を望む男女への支援に取り組んでいるところである。

今回の「結婚等に関する県民意識調査」では、20代、30代の県民の結婚に関する意識を把握し、今後の結婚支援及び少子化に関する施策展開の基礎資料とする。

## (2) 調査の項目

- ① 結婚の価値観・時期
- ② 結婚の条件
- ③ 出会いの環境
- ④ 現在結婚していない理由
- ⑤ 異性交際・結婚生活への不安
- ⑥ 未婚化・晩婚化の原因
- ⑦ 結婚支援への考え・要望
- ⑧ 結婚と仕事
- ⑨ 子どもの人数
- ⑩ 少子化対策への考え・要望

## (3) 調査の設計

- ① 調査対象 富山県在住の20代、30代の男女  
(平成29年10月1日現在の年齢)
- ② 対象数 2,000人
- ③ 調査期間 平成29年11月1日(水)～平成30年1月9日(火)
- ④ 調査方法 行政単位によって県内を15ブロックに層化、人口に応じて比例配分し住民基本台帳に基づき各層ごとに一定数のサンプルを抽出、調査票を郵送発送／郵送回収した。  
また郵送による回答もしくはWEBによる回答とし調査票を回収した。

#### (4) 回収の結果

- ① 標本数 2,000 (100%)
- ② 回収数 467(郵送 319、Web148) ※回収率:23.4%(前回(H23)26.0%)
- ③ 有効回答数 463(結婚経験あり 218、未婚 245/男性 159、女性 304)

#### (5) 回収された標本の特性

##### ① 性別と年代

上段：人数  
下段：%

	合計	20代	30代	5歳区分			
				20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳
全体	463	159	304	68	91	147	157
	100.0	34.3	65.7	14.7	19.7	31.7	33.9
男性	159	52	107	19	33	54	53
	100.0	32.7	67.3	11.9	20.8	34.0	33.3
女性	304	107	197	49	58	93	104
	100.0	35.2	64.8	16.1	19.1	30.6	34.2

##### ② 住まい

	全体	富山市 (旧富山市)	富山市 (旧大沢野町ほか)	高岡市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市	小矢部市	南砺市	射水市	舟橋村	上市町	立山町	入善町	朝日町	不明
全体	463	207	14	51	19	17	11	23	23	12	23	24	0	10	16	7	6	0
	100.0	44.5	3.0	11.0	4.1	3.7	2.4	5.0	5.0	2.6	5.0	5.2	0.0	2.2	3.5	1.5	1.3	0.0
男性	159	70	6	14	9	4	2	12	9	3	4	8	0	4	8	2	4	0
	100.0	44.0	3.8	8.8	5.7	2.5	1.3	7.5	5.7	1.9	2.5	5.0	0.0	2.5	5.0	1.3	2.5	0.0
女性	304	137	8	37	10	13	9	11	14	9	19	16	0	6	8	5	2	0
	100.0	44.9	2.6	12.2	3.3	4.3	3.0	3.6	4.6	3.0	6.3	5.3	0.0	2.0	2.6	1.6	0.7	0.0

③ 職業

上段：人数  
下段：%

	合計	自営業 (自由業、家族従事者を含む)	雇用者 (正社員、公務員などの正規職員)	パートタイマー・派遣等の非正規雇用者	その他の仕事	学生	無職・家事専業	不明
全体	463	17	293	88	6	19	38	2
	100.0	3.7	63.3	19.0	1.3	4.1	8.2	0.4
男性	159	8	127	10	2	5	7	0
	100.0	5.0	79.9	6.3	1.3	3.1	4.4	0.0
女性	304	9	166	78	4	14	31	2
	100.0	3.0	54.6	25.7	1.3	4.6	10.2	0.6

④ 結婚の状況

		合計	結婚している	結婚していたが、死別・離別した	今まで結婚したことはない
			結婚経験あり		未婚
全体	合計	463	207	11	245
		100.0	44.7	2.4	52.9
男性	合計	159	54	2	103
		100.0	34.0	1.2	64.8
	20代	52	7	0	45
		100.0	13.5	0.0	86.5
	30代	107	47	2	58
		100.0	43.9	1.9	54.2
女性	合計	304	153	9	142
		100.0	50.3	3.0	46.7
	20代	107	23	0	84
		100.0	21.5	0.0	78.5
	30代	197	130	9	58
		100.0	66.0	4.6	29.4

⑤ 子どもの数

		合計	1人	2人	3人	4人以上	子どもはいない	不明
全体	合計	463	61	87	31	1	211	72
		100.0	13.2	18.8	6.7	0.2	45.6	15.5
男性	合計	159	22	19	8	0	78	32
		100.0	13.8	11.9	5.0	0.0	49.1	20.2
	20代	52	3	0	1	0	35	13
		100.0	5.8	0.0	1.9	0.0	67.3	25.0
	30代	107	19	19	7	0	43	19
		100.0	17.8	17.8	6.5	0.0	40.2	17.7
女性	合計	304	39	68	23	1	133	40
		100.0	12.8	22.4	7.6	0.3	43.8	13.1
	20代	107	9	5	0	0	69	24
		100.0	8.4	4.7	0.0	0.0	64.5	22.4
	30代	197	30	63	23	1	64	16
		100.0	15.2	32.0	11.7	0.5	32.5	8.1

⑥ 一番上の子どもの年齢

上段：人数  
下段：%

		合計	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12歳以上	不明
子どもがいる人		180	34	56	47	26	15	2
		100.0	18.9	31.1	26.1	14.4	8.3	1.2
男性	合計	49	14	17	13	4	1	0
		100.0	28.6	34.7	26.5	8.2	2.0	0.0
	20代	4	3	1	0	0	0	0
		100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	45	11	16	13	4	1	0
		100.0	24.4	35.6	28.9	8.9	2.2	0.0
女性	合計	131	20	39	34	22	14	2
		100.0	15.3	29.8	26.0	16.8	10.7	1.4
	20代	14	9	4	1	0	0	0
		100.0	64.3	28.6	7.1	0.0	0.0	0.0
	30代	117	11	35	33	22	14	2
		100.0	9.4	29.9	28.2	18.8	12.0	1.7

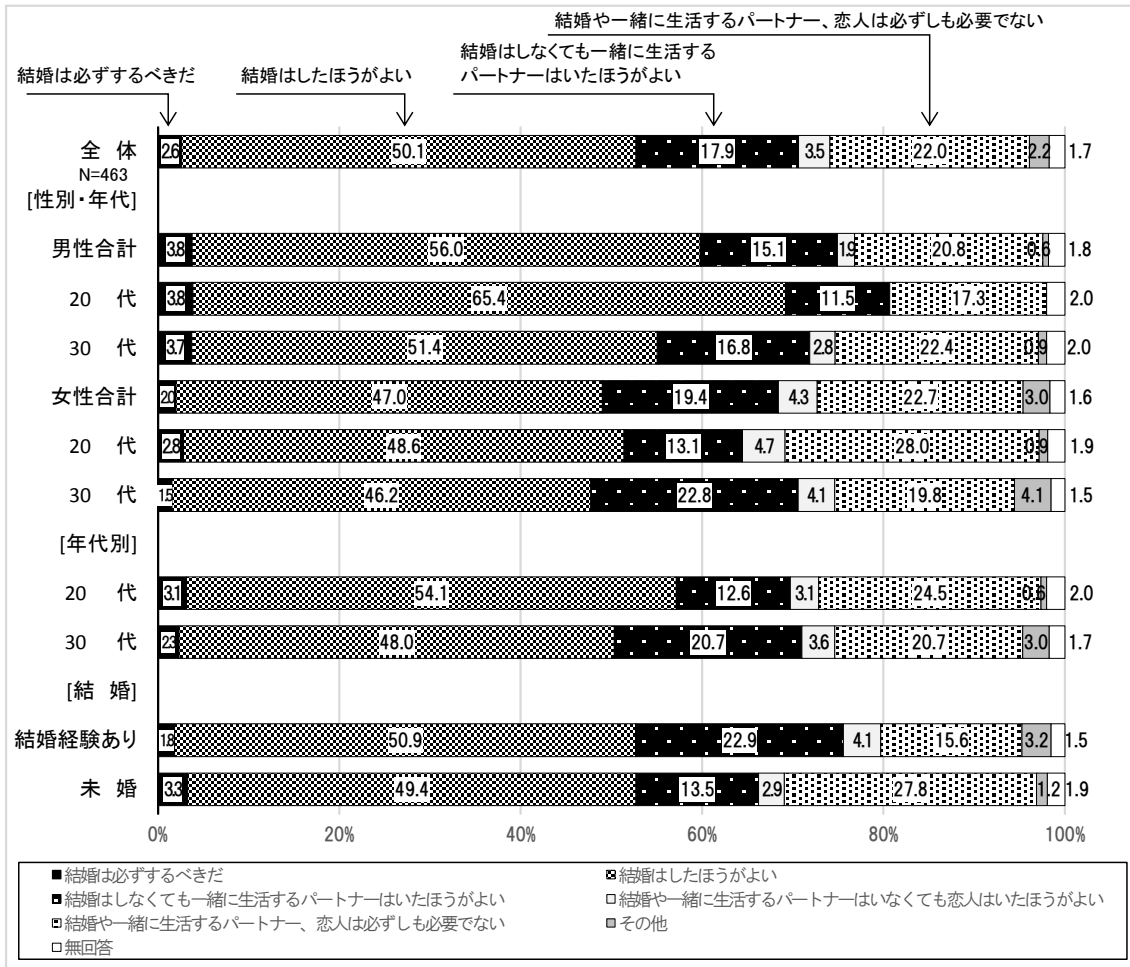
⑦ 一番下の子どもの年齢

		合計	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9歳以上	12歳以上	不明
2人以上 子どもがいる人		119	59	40	13	4	2	1
		100.0	49.6	33.6	10.9	3.4	1.7	0.8
男性	合計	27	13	12	2	0	0	0
		100.0	48.2	44.4	7.4	0.0	0.0	0.0
	20代	1	0	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	26	13	11	2	0	0	0
		100.0	50.0	42.3	7.7	0.0	0.0	0.0
女性	合計	92	46	28	11	4	2	1
		100.0	50.0	30.4	12.0	4.3	2.2	1.1
	20代	5	2	3	0	0	0	0
		100.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	87	44	25	11	4	2	1
		100.0	50.7	28.7	12.6	4.6	2.3	1.1

## 2. 調査結果の概要

### (1) 結婚の価値観・時期

問1 結婚についてあなたの考えに近いものを1つ選んでください。



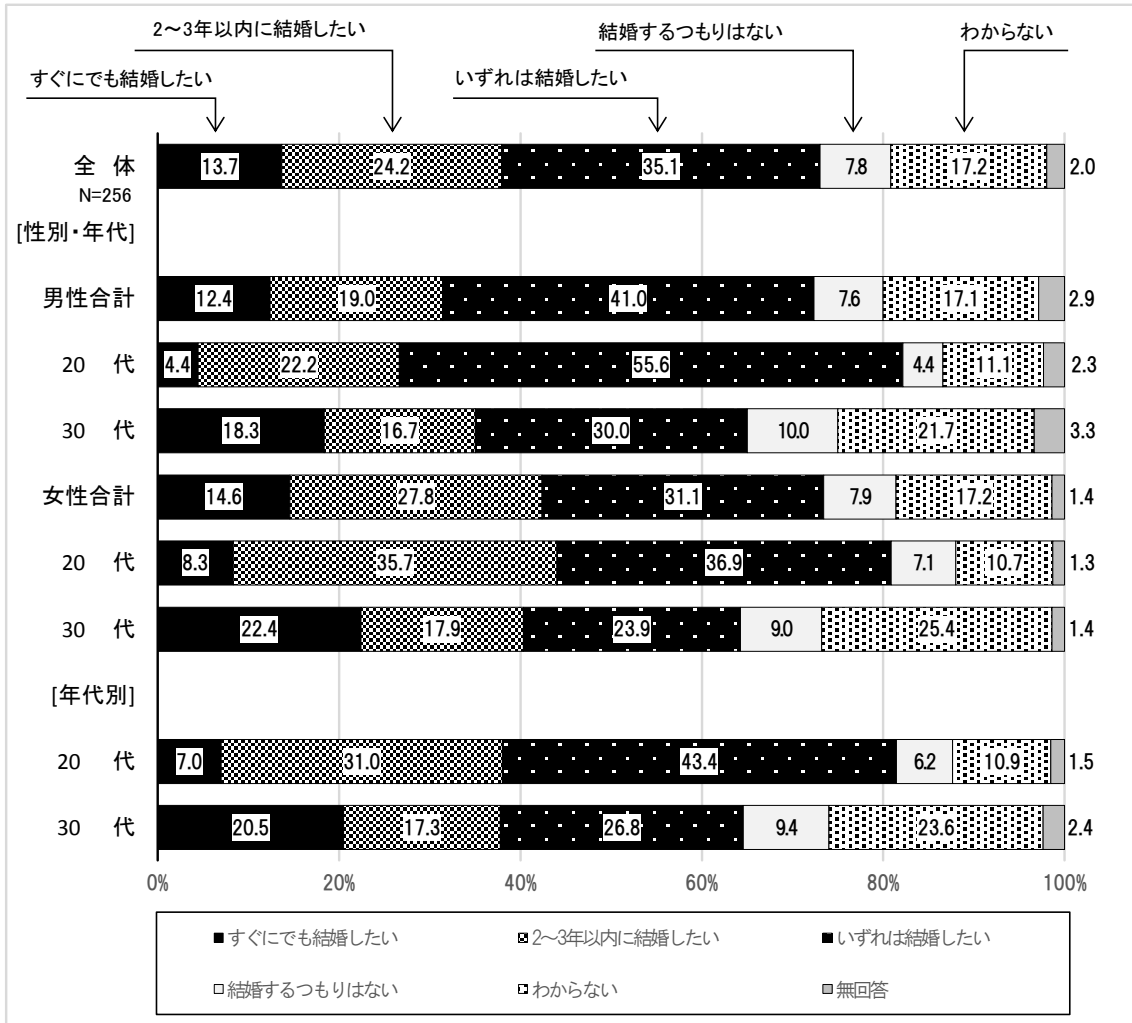
全体では、「結婚はしたほうがよい」が50.1%と最も高く、次いで「結婚や一緒に生活するパートナー、恋人は必ずしも必要でない」が22.0%となった。

「結婚は必ずすべきだ」、「結婚はしたほうがよい」と結婚に対し肯定的な回答を合わせると、男性59.8%に対し女性は49.0%と10.8ポイント下回っている。



問2 あなたは、あなたご自身の結婚の時期について、どのように考えていますか。  
あてはまるものを1つ選んでください。

※対象：現在、結婚している人を除く



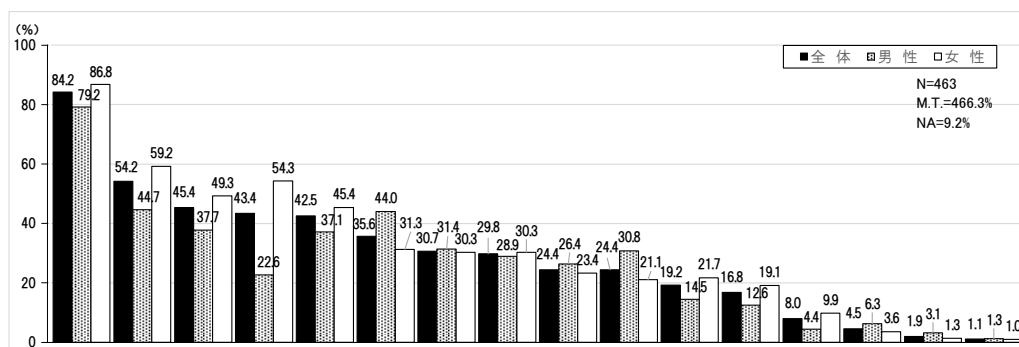
全体では、「いずれは結婚したい」が35.1%と最も多く、次いで「2~3年以内に結婚したい」が24.2%となった。

「すぐにでも結婚したい」と「2~3年以内に結婚したい」、「いずれは結婚したい」の「結婚したい」との回答を合わせると73.0%となった。

「すぐにでも結婚したい」、「2~3年以内に結婚したい」と3年以内に結婚したい方の回答では、性別にみると、男性31.4%に対し女性42.4%と女性が11.0ポイント上回っている。年代別にみると、20代38.0%、30代37.8%と大差はなかった。

## (2) 結婚の条件

問3 結婚相手に求める条件（「結婚経験あり」の方は「結婚相手に求めた条件」）は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

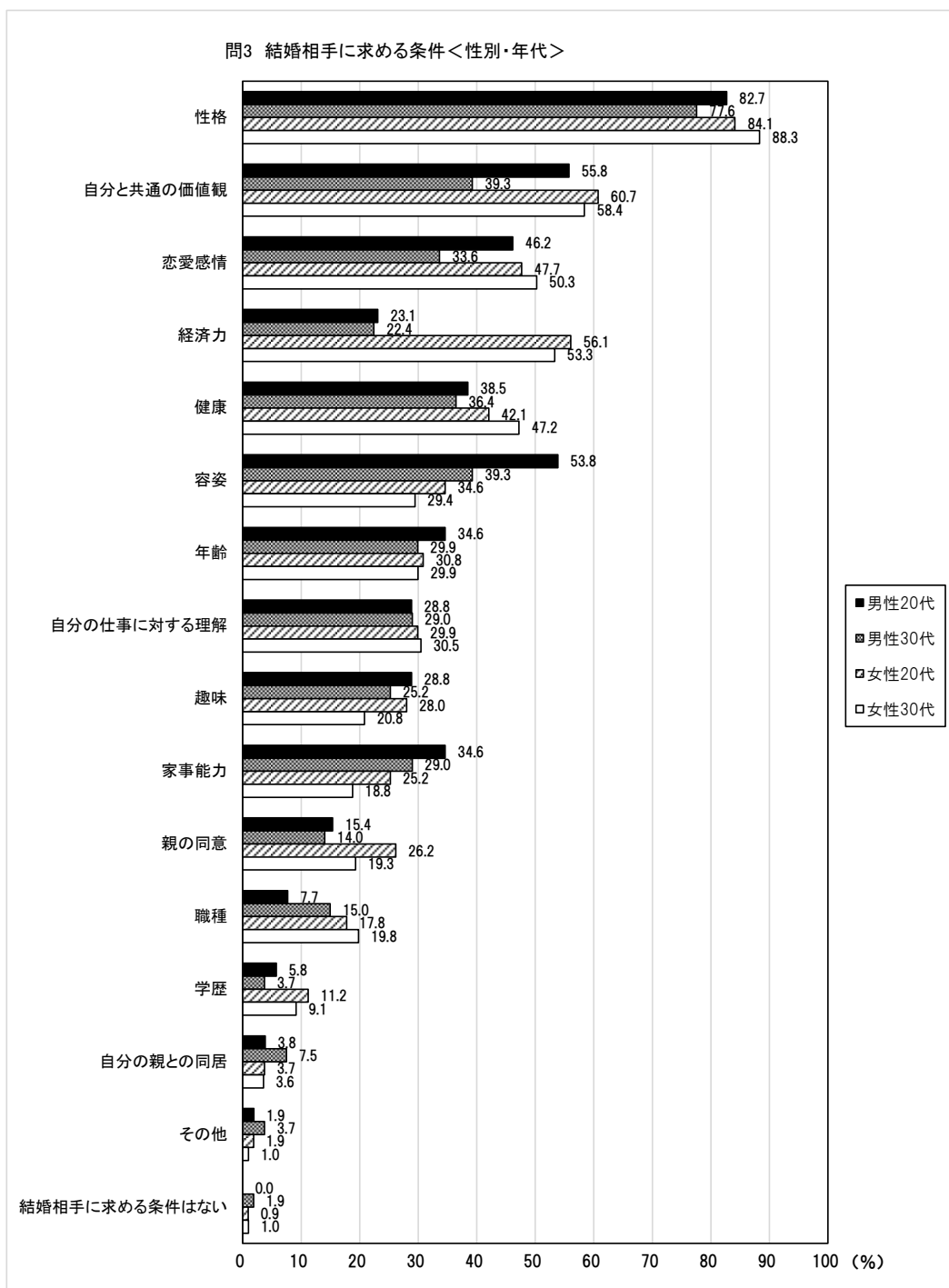


	N	性格	親自分と共通の価値観	恋愛感情	経済力	健康	容姿	年齢	自分理解の仕事に対する	趣味	家事能力	親の同意	職種	学歴	自分の親との同居	その他	条件相手には求めない
全体	463	84.2	54.2	45.4	43.4	42.5	35.6	30.7	29.8	24.4	24.4	19.2	16.8	8.0	4.5	1.9	1.1
[性別・年代]																	
男性合計	159	79.2	44.7	37.7	22.6	37.1	44.0	31.4	28.9	26.4	30.8	14.5	12.6	4.4	6.3	3.1	1.3
20代	52	82.7	55.8	46.2	23.1	38.5	53.8	34.6	28.8	28.8	34.6	15.4	7.7	5.8	3.8	1.9	0.0
30代	107	77.6	39.3	33.6	22.4	36.4	39.3	29.9	29.0	25.2	29.0	14.0	15.0	3.7	7.5	3.7	1.9
女性合計	304	86.8	59.2	49.3	54.3	45.4	31.3	30.3	30.3	23.4	21.1	21.7	19.1	9.9	3.6	1.3	1.0
20代	107	84.1	60.7	47.7	56.1	42.1	34.6	30.8	29.9	28.0	25.2	26.2	17.8	11.2	3.7	1.9	0.9
30代	197	88.3	58.4	50.3	53.3	47.2	29.4	29.9	30.5	20.8	18.8	19.3	19.8	9.1	3.6	1.0	1.0
[年代別]																	
20代	159	83.6	59.1	47.2	45.3	40.9	40.9	32.1	29.6	28.3	28.3	22.6	14.5	9.4	3.8	1.9	0.6
30代	304	84.5	51.6	44.4	42.4	43.4	32.9	29.9	29.9	22.4	22.4	17.4	18.1	7.2	4.9	2.0	1.3
[結婚]																	
結婚経験あり	218	91.3	52.3	50.0	43.6	43.6	31.2	29.8	29.8	19.3	20.6	19.3	19.3	9.2	3.2	1.8	1.8
未婚	245	78.0	55.9	41.2	43.3	41.6	39.6	31.4	29.8	29.0	27.8	19.2	14.7	6.9	5.7	2.0	0.4

全体では、「性格」が84.2%と最も高く、次いで「自分と共通の価値観」が54.2%となった。

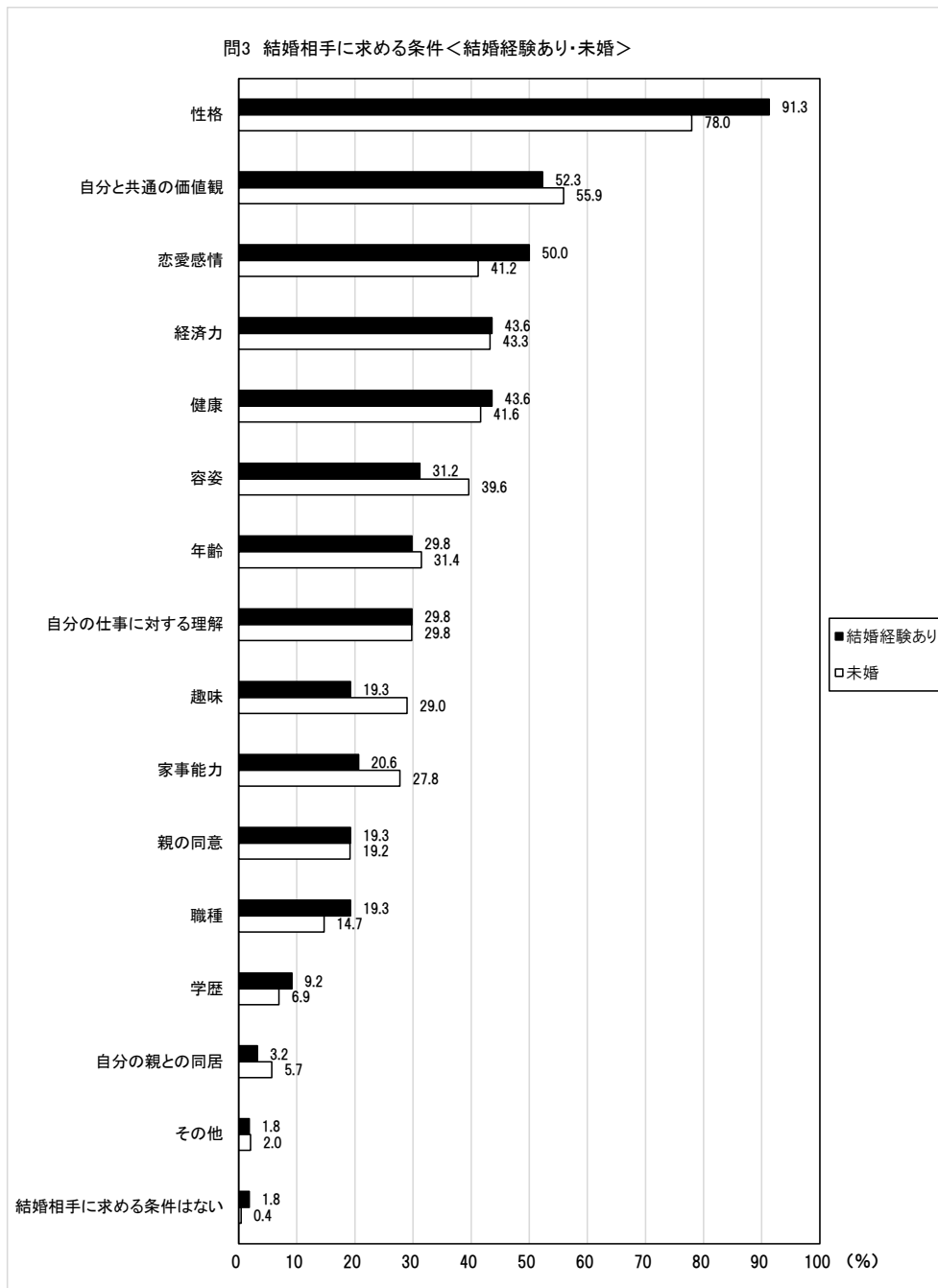
性別でみると、男女間で差異が大きいのは「経済力」で、男性22.6%に対し女性54.3%と女性が31.7ポイント上回っている。「自分と共通の価値観」でも男性44.7%に対し女性59.2%と女性が14.5ポイント高い。また「恋愛感情」は男性37.7%に対し女性49.3%と11.6ポイント上回ることとなった。

一方、男性が女性を大きく上回ったのは「容姿」で、男性44.0%に対し女性31.3%と、12.7ポイント上回っている。



性別・年代で見ると、結婚相手に求める条件は、20代、30代女性で「経済力」と回答した割合が男性を大きく上回っている。また「親の同意」、「職種」、「学歴」でも女性の割合が高い傾向がみられた。

一方、男性が女性を大きく上回ったのは「容姿」で、「家事能力」においても男性の割合が高い傾向がみられた。



結婚経験者・未婚者の別で見ると、結婚相手に求める条件は、結婚経験者・未婚者とも割合に近い項目が多い結果となった。

「性格」では結婚経験者 91.3%に対し未婚者 78.0%、「恋愛感情」では結婚経験者 50.0%に対し未婚者 41.2%と結婚経験者が未婚者を上回っている。

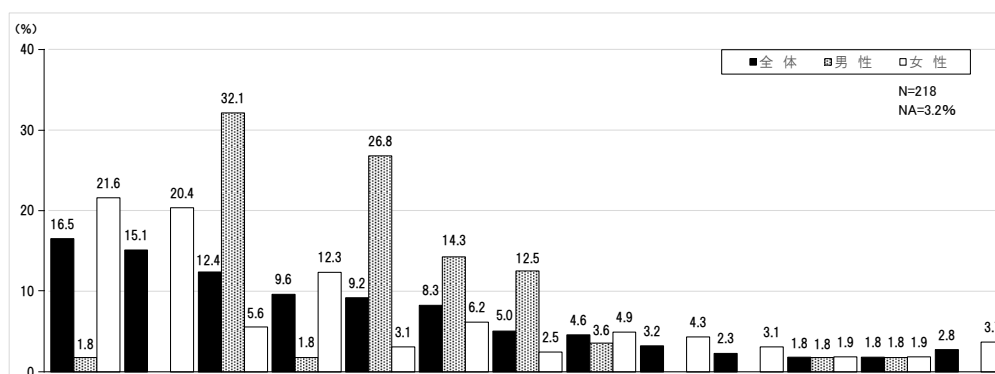
「容姿」では結婚経験者 31.2%に対し未婚者 39.6%、「趣味」では結婚経験者 19.3%に対し未婚者 29.0%、「家事能力」では結婚経験者 20.6%に対し未婚者 27.8%と未婚者が結婚経験者を上回る結果となった。

### (3) 出会いの環境

問4 「結婚経験あり」の方にお聞きします。

配偶者とどのようなきっかけで知り合いましたか。

次の中からもっともあてはまるもの1つを選んでください。



	N	学校以外のサークルやクラブ活動・習い事	地域やボランティア活動	友人や兄弟(姉妹)を通じた紹介	見合い(親や親戚・上司の紹介も含む)	職場や仕事の関係	学校	合コンやパーティー	インターネット	アルバイト先	街中や旅行先	幼なじみ・隣人関係	結婚相談所	その他
全体	218	16.5	15.1	12.4	9.6	9.2	8.3	5.0	4.6	3.2	2.3	1.8	1.8	2.8

[性別・年代]

男性合計	56	1.8	0.0	32.1	1.8	26.8	14.3	12.5	3.6	0.0	0.0	1.8	1.8	0.0
20代	7	0.0	0.0	28.6	0.0	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	49	2.0	0.0	32.7	2.0	24.5	14.3	14.3	2.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0
女性合計	162	21.6	20.4	5.6	12.3	3.1	6.2	2.5	4.9	4.3	3.1	1.9	1.9	3.7
20代	23	4.3	0.0	26.1	4.3	17.4	8.7	13.0	13.0	4.3	0.0	4.3	0.0	4.3
30代	139	24.5	23.7	2.2	13.7	0.7	5.8	0.7	3.6	4.3	3.6	1.4	2.2	3.6

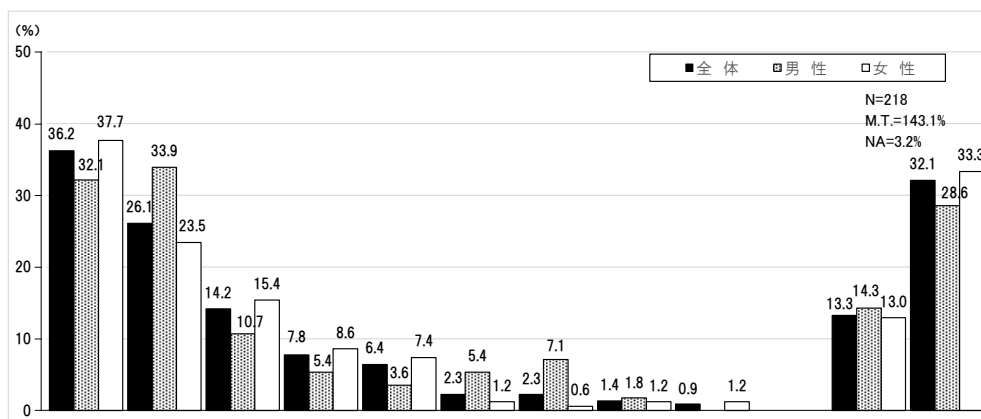
[年代別]

20代	30	3.3	0.0	26.7	3.3	23.3	10.0	10.0	13.3	3.3	0.0	3.3	0.0	3.3
30代	188	4.8	1.1	26.1	2.1	24.5	11.2	13.8	3.7	2.7	1.6	1.1	1.1	2.7

全体では、「学校以外のサークルやクラブ活動・習い事」が16.5%と最も高く、次いで「地域やボランティア活動」が15.1%となった。

性別で見ると、男性では「友人や兄弟(姉妹)を通じた紹介」が32.1%、「職場や仕事の関係」が26.8%と上位を占めた。女性では「学校以外のサークルやクラブ活動・習い事」が21.6%、「地域やボランティア活動」が20.4%となっている。

問5 「結婚経験あり」の方にお聞きします。  
 配偶者と交際を始める前、交際相手に出会うことを期待してどのようなことを  
 行っていましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



	N	た合コンやパーティーに行った	友人や兄弟(姉妹)に紹介を頼んだ	職場の同僚や先輩に紹介を頼んだ	趣味のサークルに入った	インターネットを利用した	親や親戚・上司に紹介を頼んだ	民間の結婚相談所を利用した	お見合いをした	スキルの学校に通った	地方自治体やNPOなどの結婚相談所を利用した	その他	特になにもしていない
全体	218	36.2	26.1	14.2	7.8	6.4	2.3	2.3	1.4	0.9	0.0	13.3	32.1
[性別・年代]													
男性合計	56	32.1	33.9	10.7	5.4	3.6	5.4	7.1	1.8	0.0	0.0	14.3	28.6
20代	7	28.6	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6
30代	49	32.7	32.7	10.2	6.1	2.0	6.1	8.2	2.0	0.0	0.0	14.3	28.6
女性合計	162	37.7	23.5	15.4	8.6	7.4	1.2	0.6	1.2	1.2	0.0	13.0	33.3
20代	23	39.1	26.1	0.0	13.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	34.8
30代	139	37.4	23.0	18.0	7.9	7.2	1.4	0.7	1.4	1.4	0.0	14.4	33.1
[年代別]													
20代	30	36.7	30.0	3.3	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	33.3
30代	188	36.2	25.5	16.0	7.4	5.9	2.7	2.7	1.6	1.1	0.0	14.4	31.9

全体では、「合コンやパーティーに行った」が36.2%と最も高く、「友人や兄弟(姉妹)に紹介を頼んだ」が26.1%となった。一方で「特になにもしていない」が32.1%となり、全体の約3割が活動していない結果となった。

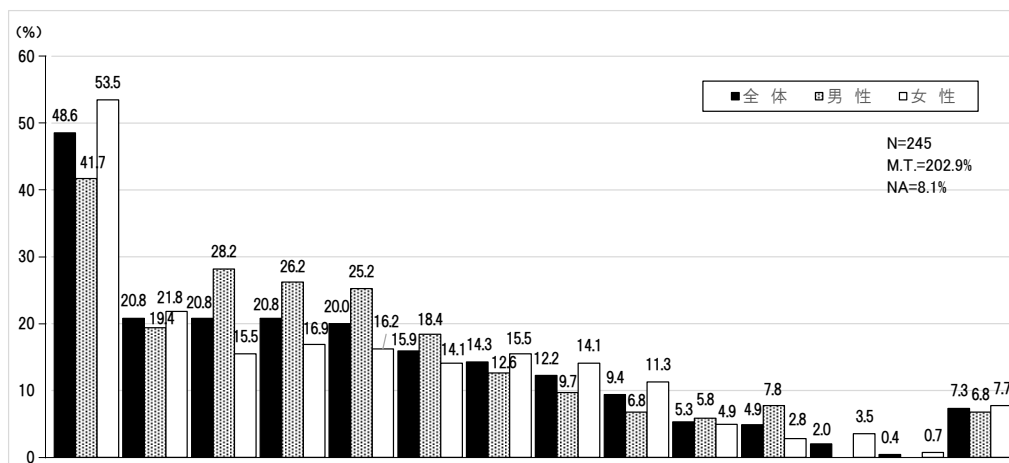
また「友人や兄弟(姉妹)に紹介を頼んだ」、「職場の同僚や先輩に紹介を頼んだ」、「親や親戚・上司に紹介を頼んだ」の合計は42.6%となり、身近な人に紹介を求める方が半数程度を占める結果となった。

性別でみると、「友人や兄弟(姉妹)に紹介を頼んだ」で男性33.9%に対し女性23.5%と男性が10.4ポイント上回っている。

#### (4) 現在結婚していない理由

問6-1 「未婚」の方にお聞きします。

現在結婚していない理由を、次の中から3つまで選んでください。



	N	1. 適当な相手にめぐり合わない	2. 自由や気楽さを失いたくない	3. 異性とうまくつきあえない	4. 結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない	5. 趣味や娯楽を楽しみたい	6. 必要性を感じない	7. まだ若いから	8. 仕事が忙しすぎるから	9. 仕事(学業)に打ち込みたい	10. 結婚するつもりがない	11. 雇用が安定しない	12. 親や周囲が同意しない	13. 住宅のめどが立たない	14. その他
全体	245	48.6	20.8	20.8	20.8	20.0	15.9	14.3	12.2	9.4	5.3	4.9	2.0	0.4	7.3

[性別・年代]

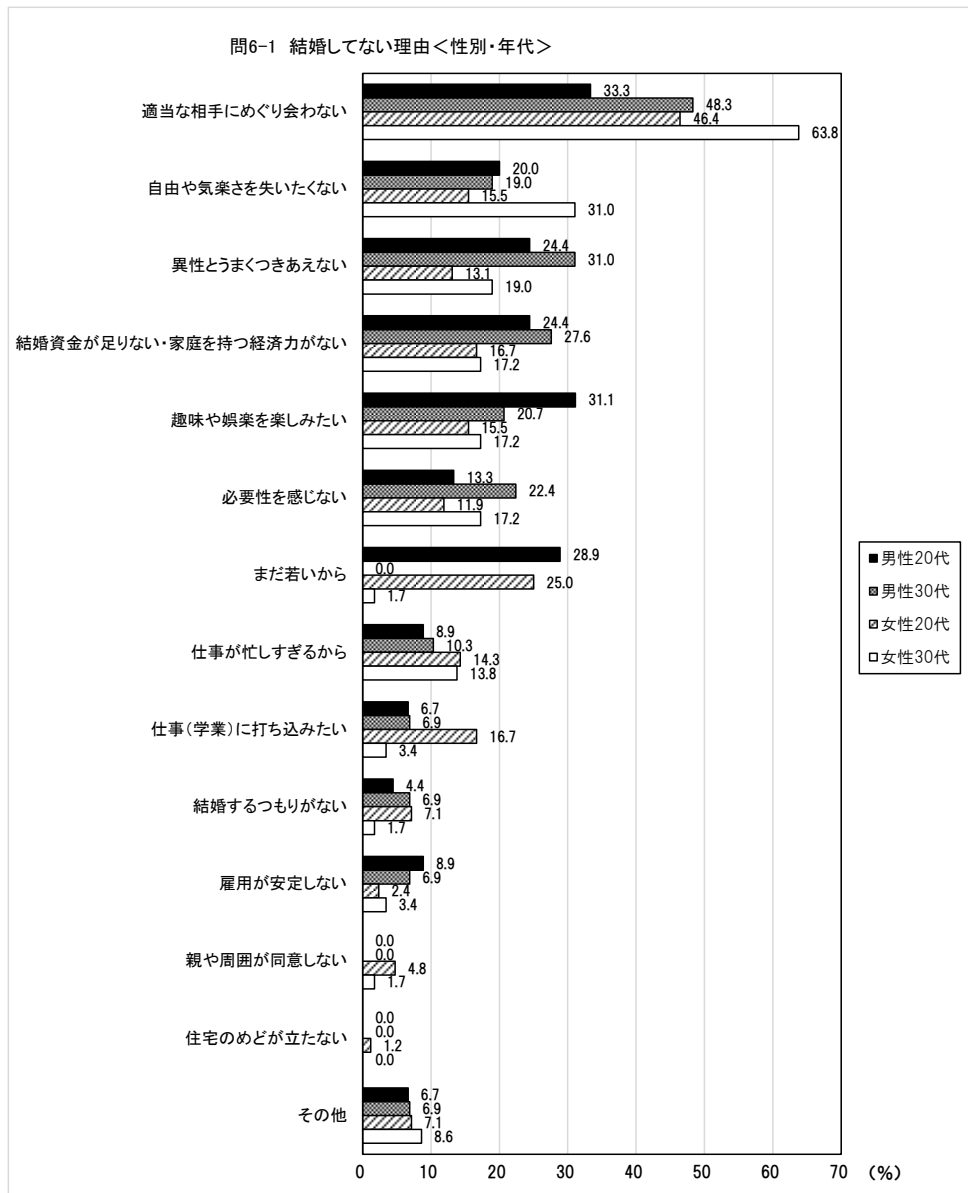
性別	N	1. 適当な相手にめぐり合わない	2. 自由や気楽さを失いたくない	3. 異性とうまくつきあえない	4. 結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない	5. 趣味や娯楽を楽しみたい	6. 必要性を感じない	7. まだ若いから	8. 仕事が忙しすぎるから	9. 仕事(学業)に打ち込みたい	10. 結婚するつもりがない	11. 雇用が安定しない	12. 親や周囲が同意しない	13. 住宅のめどが立たない	14. その他
男性合計	103	41.7	19.4	28.2	26.2	25.2	18.4	12.6	9.7	6.8	5.8	7.8	0.0	0.0	6.8
20代	45	33.3	20.0	24.4	24.4	31.1	13.3	28.9	8.9	6.7	4.4	8.9	0.0	0.0	6.7
30代	58	48.3	19.0	31.0	27.6	20.7	22.4	0.0	10.3	6.9	6.9	6.9	0.0	0.0	6.9
女性合計	142	53.5	21.8	15.5	16.9	16.2	14.1	15.5	14.1	11.3	4.9	2.8	3.5	0.7	7.7
20代	84	46.4	15.5	13.1	16.7	15.5	11.9	25.0	14.3	16.7	7.1	2.4	4.8	1.2	7.1
30代	58	63.8	31.0	19.0	17.2	17.2	17.2	1.7	13.8	3.4	1.7	3.4	1.7	0.0	8.6

[年代別]

年代	N	1. 適当な相手にめぐり合わない	2. 自由や気楽さを失いたくない	3. 異性とうまくつきあえない	4. 結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない	5. 趣味や娯楽を楽しみたい	6. 必要性を感じない	7. まだ若いから	8. 仕事が忙しすぎるから	9. 仕事(学業)に打ち込みたい	10. 結婚するつもりがない	11. 雇用が安定しない	12. 親や周囲が同意しない	13. 住宅のめどが立たない	14. その他
20代	129	41.9	17.1	17.1	19.4	20.9	12.4	26.4	12.4	13.2	6.2	4.7	3.1	0.8	7.0
30代	116	56.0	25.0	25.0	22.4	19.0	19.8	0.9	12.1	5.2	4.3	5.2	0.9	0.0	7.8

全体では、「適当な相手にめぐり合わない」が48.6%と最も高く、次いで「自由や気楽さを失いたくない」と「異性とうまくつきあえない」、「結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない」がともに20.8%となった。

性別で見ると、「異性とうまくつきあえない」で男性28.2%に対し女性15.5%と男性が12.7ポイント上回っている。一方で「適当な相手にめぐり合わない」では男性41.7%に対し女性53.5%と女性が11.8ポイント上回る結果となった。



性別・年代でみると、結婚していない理由は、女性30代で「適当な相手にめぐり合わない」が63.8%と半数を超えており、「自由や気楽さを失いたくない」でも31.0%となり、男性20代、30代、女性20代より高い割合となった。

男性20代では「適当な相手にめぐり合わない」が33.3%、「趣味や娯楽を楽しみたい」が31.1%、「まだ若いから」が28.9%と高い割合となった。

男性30代では「適当な相手にめぐり合わない」が48.3%、「異性とうまくつきあえない」が31.0%、「結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない」が27.6%となっている。

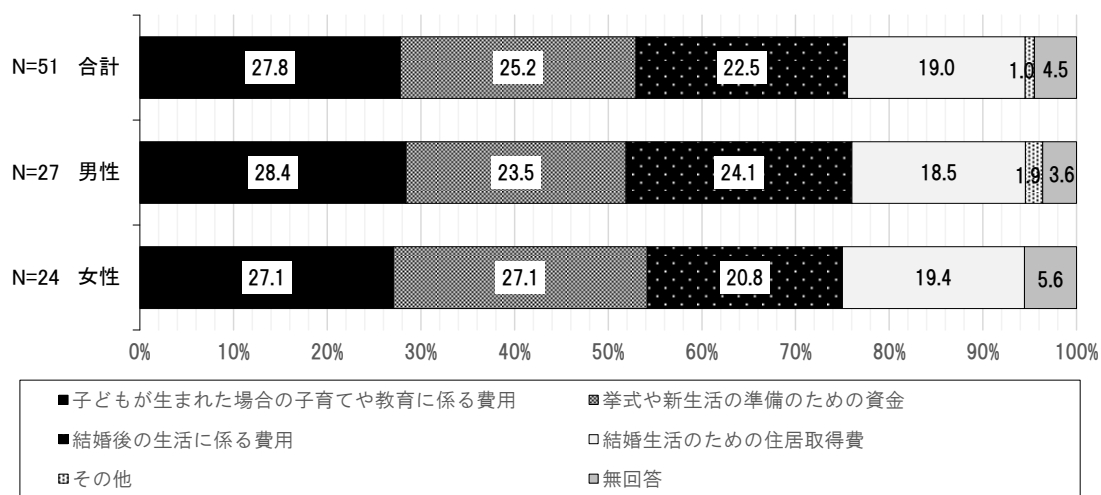
女性20代では「適当な相手にめぐり合わない」が46.4%、「まだ若いから」が25.0%となった。



問6-2 問6-1で「結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない」を選んだ方にお聞きします。

結婚や結婚後の生活に係る費用の中で負担が大きいと感じるものは何ですか。負担の大きいものから3つまで選んで、順に番号を記入してください。

※対象：問6-1で「結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない」と回答した人



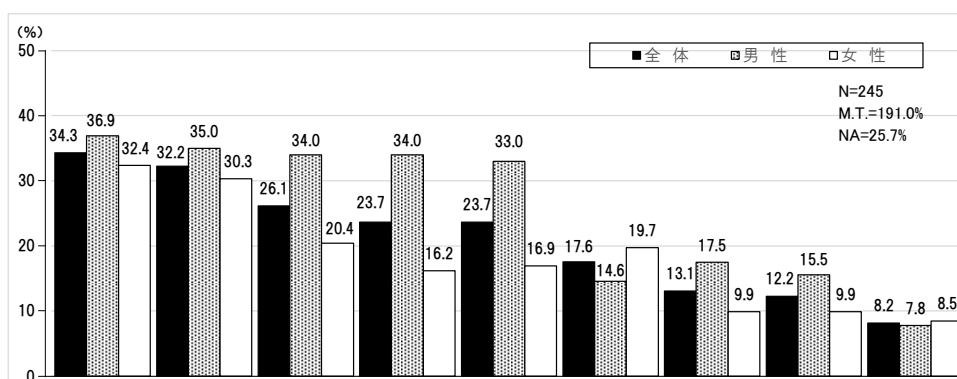
負担の大きいものから、1位（3ポイント）、2位（2ポイント）、3位（1ポイント）として試算したところ、「子どもが生まれた場合の子育てや教育に係る費用」が27.8%と最も高くなった。

## (5) 異性交際・結婚生活への不安

問7 「未婚」の方にお聞きします。

異性と交際する上での不安はありますか。

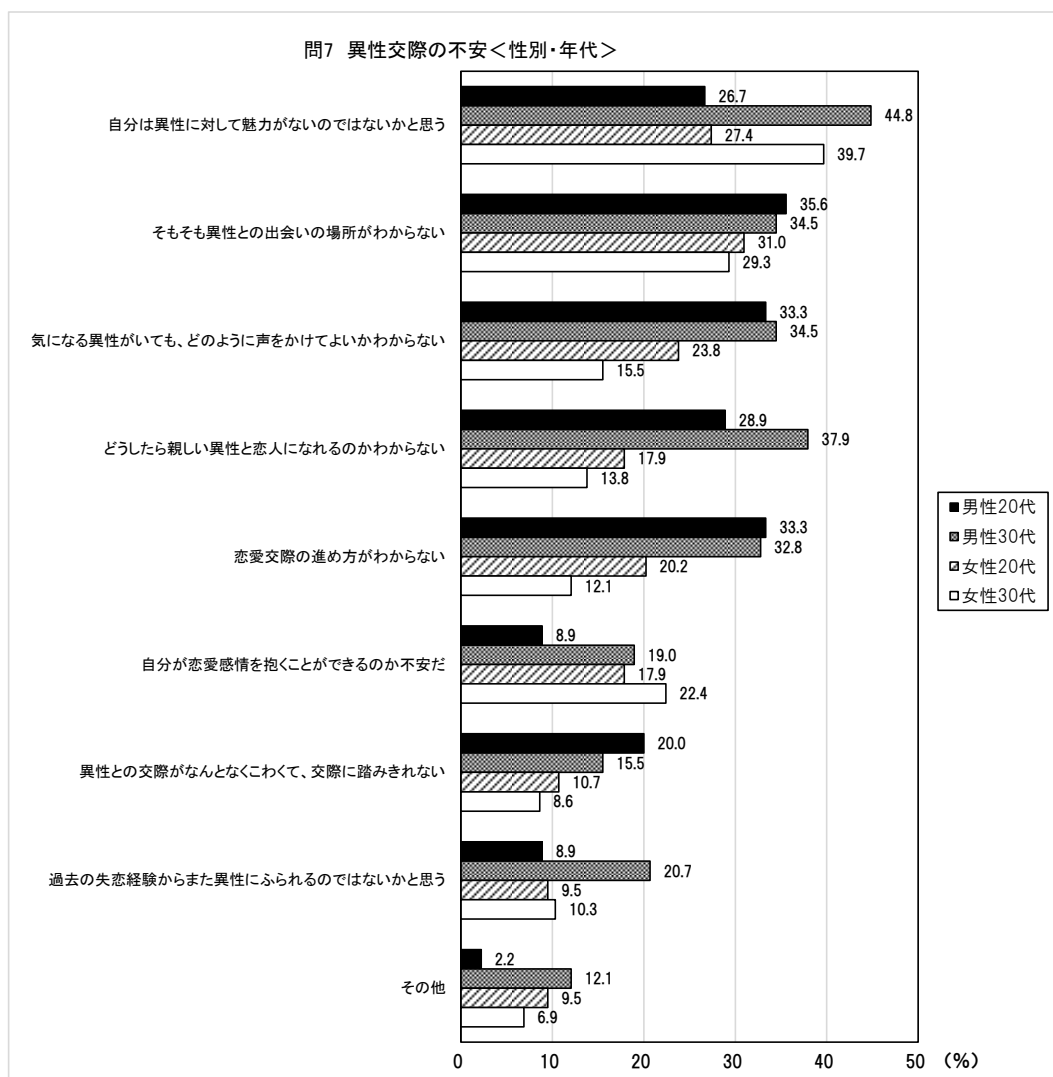
不安がある場合はあてはまるものをすべて選んでください。



	N	自分が異性に対して魅力がないのではないかと考える	そもそも異性との出会いの場所がわからない	いかなる異性かかわらない声をかけても、気になる異性がいない	恋人になれたら親しい異性となれない	恋愛交際の進め方がわからない	自分が恋愛感情を抱くことができない	異性との交際がなんとなく踏みきれない	過去の失恋経験から異性かと思う	その他
全体	245	34.3	32.2	26.1	23.7	23.7	17.6	13.1	12.2	8.2
[性別・年代]										
男性合計	103	36.9	35.0	34.0	34.0	33.0	14.6	17.5	15.5	7.8
20代	45	26.7	35.6	33.3	28.9	33.3	8.9	20.0	8.9	2.2
30代	58	44.8	34.5	34.5	37.9	32.8	19.0	15.5	20.7	12.1
女性合計	142	32.4	30.3	20.4	16.2	16.9	19.7	9.9	9.9	8.5
20代	84	27.4	31.0	23.8	17.9	20.2	17.9	10.7	9.5	9.5
30代	58	39.7	29.3	15.5	13.8	12.1	22.4	8.6	10.3	6.9
[年代別]										
20代	129	27.1	32.6	27.1	21.7	24.8	14.7	14.0	9.3	7.0
30代	116	42.2	31.9	25.0	25.9	22.4	20.7	12.1	15.5	9.5

全体では、「自分は異性に対して魅力がないのではないかと考える」が 34.3%と最も高く、次いで「そもそも異性との出会いの場所がわからない」が 32.2%となった。

性別で見ると、「どうしたら親しい異性と恋人になれるのかわからない」で男性 34.0%に対し女性 16.2%と男性が 17.8 ポイント上回っている。次いで「恋愛交際の進め方がわからない」で男性 33.0%に対し女性 16.9%と男性が 16.1 ポイント、「気になる異性がいても、どのように声をかけてよいかかわからない」で男性 34.0%に対し女性 20.4%と男性が 13.6 ポイント高くなった。

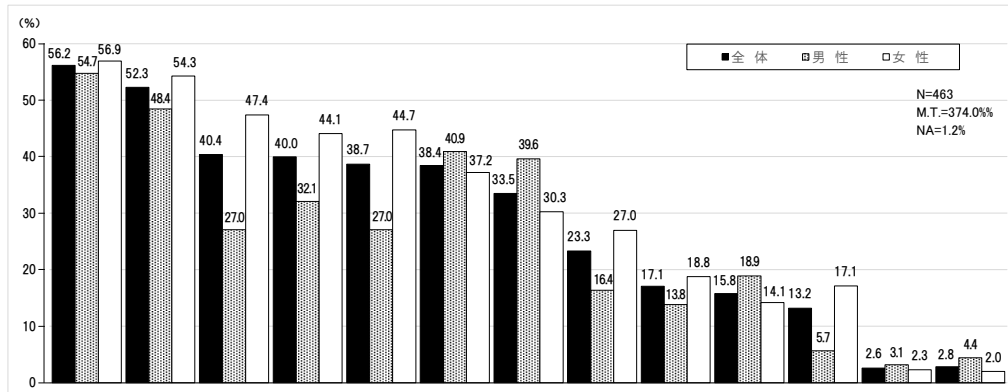


性別・年代でみると、異性交際の不安は、男性30代では「自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う」が44.8%、「どうしたら親しい異性と恋人になれるのかわからない」が37.9%、「そもそも異性との出会いの場所がわからない」と「気になる異性がいる、どのように声をかけてよいかわからない」とがともに34.5%、「恋愛交際の進め方がわからない」が32.8%と割合が高く、男性30代は異性との交際にさまざまな不安を感じている。

男性20代でも「そもそも異性との出会いの場所がわからない」が35.6%、「恋愛交際の進め方がわからない」が33.3%となっており、女性より男性が不安要素を抱えていることが読み取れた。

一方、女性30代では「自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う」が39.7%、女性20代では「そもそも異性との出会いの場所がわからない」が31.0%と最も高くなった。

問8 結婚生活を送っていく上で不安に思っていること（思ったこと）は何ですか。  
 あてはまるものをすべて選んでください。



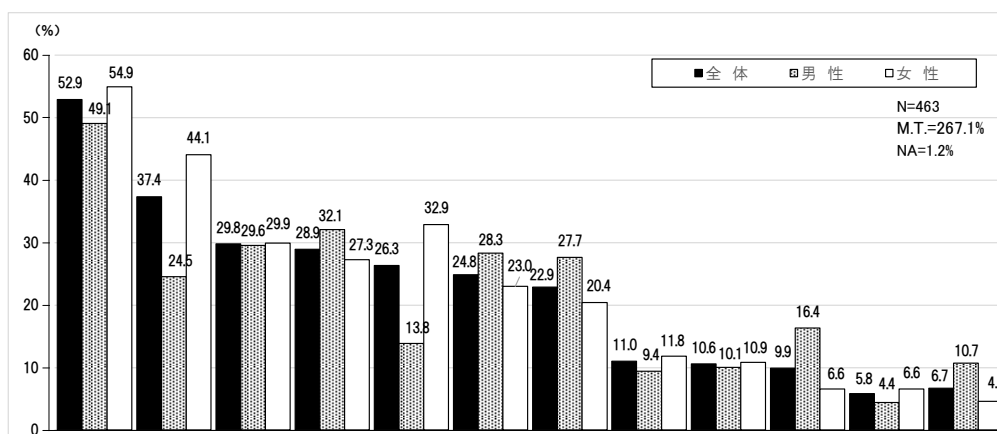
	N	経済的に十分な生活ができるかどうか	配偶者と心が通わなくなる・不仲になること	配偶者の親族とのつきあい	出産・子育て	配偶者や自分の親の介護	子どもの教育やしつけ	自分の自由時間がとれなくなる	配偶者との家事分担	子どもが授かるか	収入や仕事が安定しない	今までの仕事が続けられるか	わからない	その他
全体	463	56.2	52.3	40.4	40.0	38.7	38.4	33.5	23.3	17.1	15.8	13.2	2.6	2.8
【性別・年代】														
男性合計	159	54.7	48.4	27.0	32.1	27.0	40.9	39.6	16.4	13.8	18.9	5.7	3.1	4.4
20代	52	46.2	53.8	25.0	38.5	25.0	46.2	36.5	13.5	7.7	15.4	1.9	3.8	0.0
30代	107	58.9	45.8	28.0	29.0	28.0	38.3	41.1	17.8	16.8	20.6	7.5	2.8	6.5
女性合計	304	56.9	54.3	47.4	44.1	44.7	37.2	30.3	27.0	18.8	14.1	17.1	2.3	2.0
20代	107	53.3	63.6	52.3	50.5	38.3	31.8	38.3	29.0	25.2	15.0	21.5	1.9	0.0
30代	197	58.9	49.2	44.7	40.6	48.2	40.1	25.9	25.9	15.2	13.7	14.7	2.5	3.0
【年代別】														
20代	159	50.9	60.4	43.4	46.5	34.0	36.5	37.7	23.9	19.5	15.1	15.1	2.5	0.0
30代	304	58.9	48.0	38.8	36.5	41.1	39.5	31.3	23.0	15.8	16.1	12.2	2.6	4.3

全体では、「経済的に十分な生活ができるかどうか」が 56.2%と最も高く、次いで「配偶者と心が通わなくなる・不仲になること」が 52.3%となった。

性別で見ると、「配偶者の親族とのつきあい」で男性 27.0%に対し女性 47.4%と女性が 20.4 ポイント上回っている。また「配偶者や自分の親の介護」で男性 27.0%に対し女性 44.7%と女性が 17.7 ポイント上回り、「出産・子育て」では男性 32.1%に対し女性 44.1%と女性が 12.0 ポイント上回っている。

## (6) 未婚化・晩婚化の原因

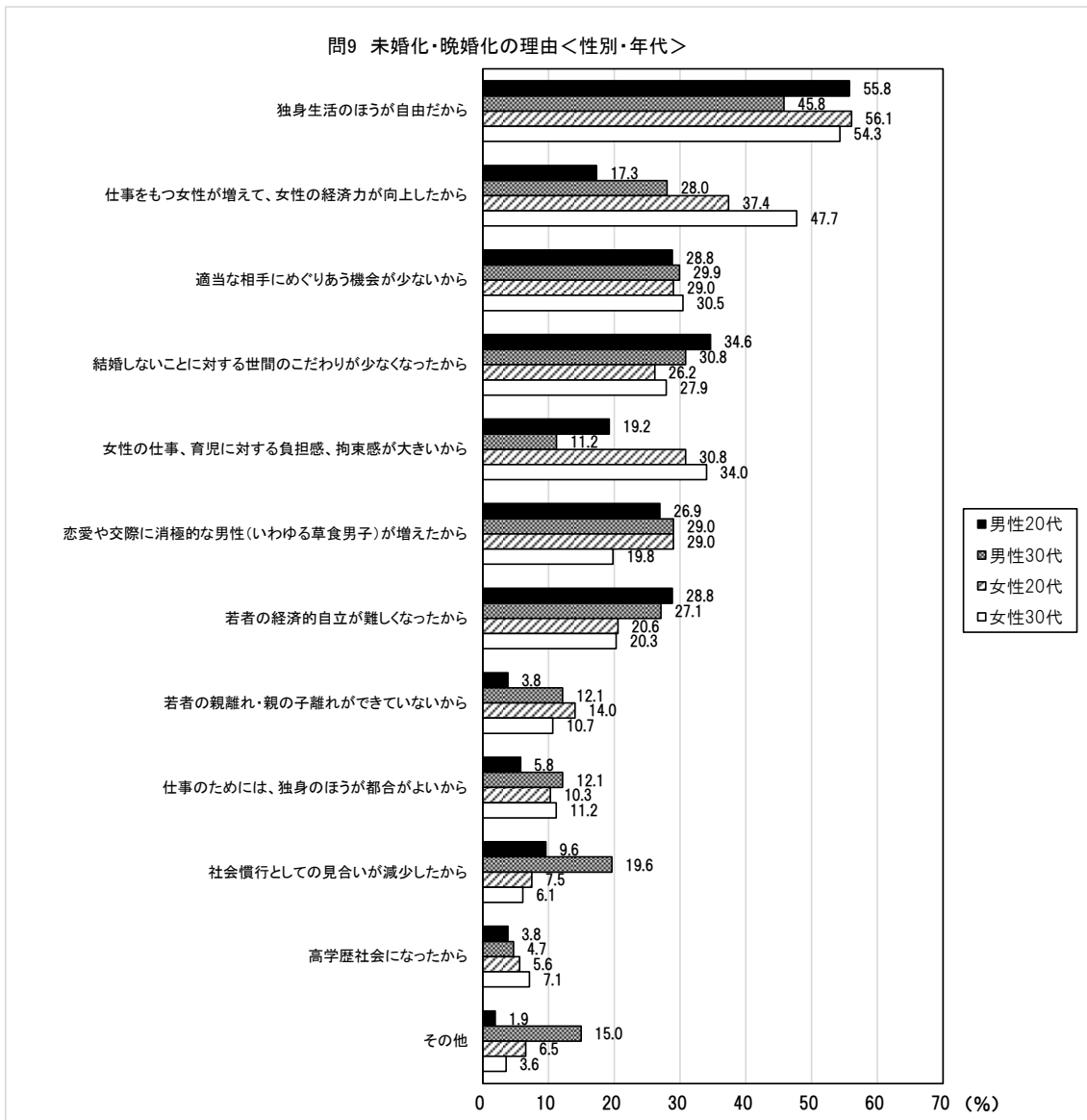
問9 近年の少子化の原因の一つに、未婚化、晩婚化の進行が挙げられています。未婚化、晩婚化の理由についてあなたはどのように思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまで選んでください。



	N	独身生活のほうが自由だから	仕事をもち女性がが増えて、女性の経済力が向上したから	が適当な相手にめぐりあう機会が少ないから	の結婚しないことになつたか	女性の仕事、育児に対する負担感、拘束感が大きいから	た(愛や交際の草食男子)が増え	若者の経済的自立が難しくなつたから	若者の親離れ・親の子離れができていないから	が都合がよいから、独身のほう	少したから	高学歴社会になつたから	その他
全体	463	52.9	37.4	29.8	28.9	26.3	24.8	22.9	11.0	10.6	9.9	5.8	6.7
[性別・年代]													
男性合計	159	49.1	24.5	29.6	32.1	13.8	28.3	27.7	9.4	10.1	16.4	4.4	10.7
20代	52	55.8	17.3	28.8	34.6	19.2	26.9	28.8	3.8	5.8	9.6	3.8	1.9
30代	107	45.8	28.0	29.9	30.8	11.2	29.0	27.1	12.1	12.1	19.6	4.7	15.0
女性合計	304	54.9	44.1	29.9	27.3	32.9	23.0	20.4	11.8	10.9	6.6	6.6	4.6
20代	107	56.1	37.4	29.0	26.2	30.8	29.0	20.6	14.0	10.3	7.5	5.6	6.5
30代	197	54.3	47.7	30.5	27.9	34.0	19.8	20.3	10.7	11.2	6.1	7.1	3.6
[年代別]													
20代	159	56.0	30.8	28.9	28.9	27.0	28.3	23.3	10.7	8.8	8.2	5.0	5.0
30代	304	51.3	40.8	30.3	28.9	26.0	23.0	22.7	11.2	11.5	10.9	6.3	7.6
[結婚]													
結婚経験あり	218	56.4	43.1	28.4	26.6	36.7	21.1	22.0	9.2	13.8	7.3	6.0	6.0
未婚	245	49.8	32.2	31.0	31.0	17.1	28.2	23.7	12.7	7.8	12.2	5.7	7.3

全体では「独身生活のほうが自由だから」が52.9%と最も高く、次いで「仕事をもち女性がが増えて、女性の経済力が向上したから」が37.4%となった。

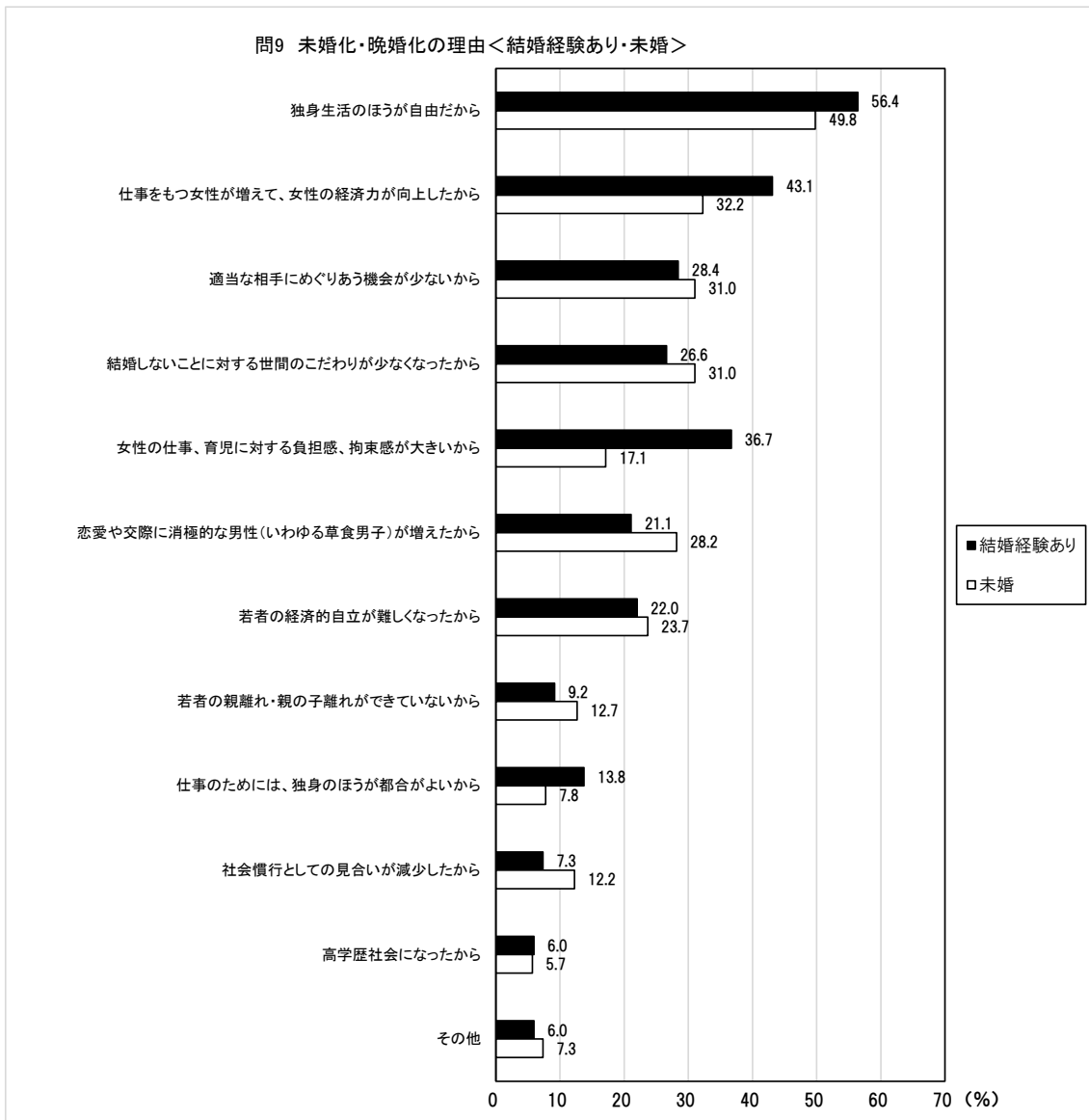
性別で見ると、「仕事をもち女性がが増えて、女性の経済力が向上したから」で男性24.5%に対し女性44.1%と女性が19.6ポイント、「女性の仕事、育児に対する負担感、拘束感が大きいから」で男性13.8%に対し女性32.9%と女性が19.1ポイント上回っている。



性別・年代で見ると、未婚化・晩婚化の理由は「独身生活のほうが自由だから」が男性20代55.8%、女性20代56.1%、女性30代54.3%と半数を超えている。

その他、男性では「結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなったから」(男性20代34.6%、男性30代30.8%)、「適当な相手にめぐりあう機会が少ないから」(男性20代28.8%、男性30代29.9%)の回答が多くなっている。

一方で女性は「仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上したから」(女性20代37.4%、女性30代47.7%)、「女性の仕事、育児に対する負担感、拘束感が大きいから」(女性20代30.8%、女性30代34.0%)の回答が多くなった。

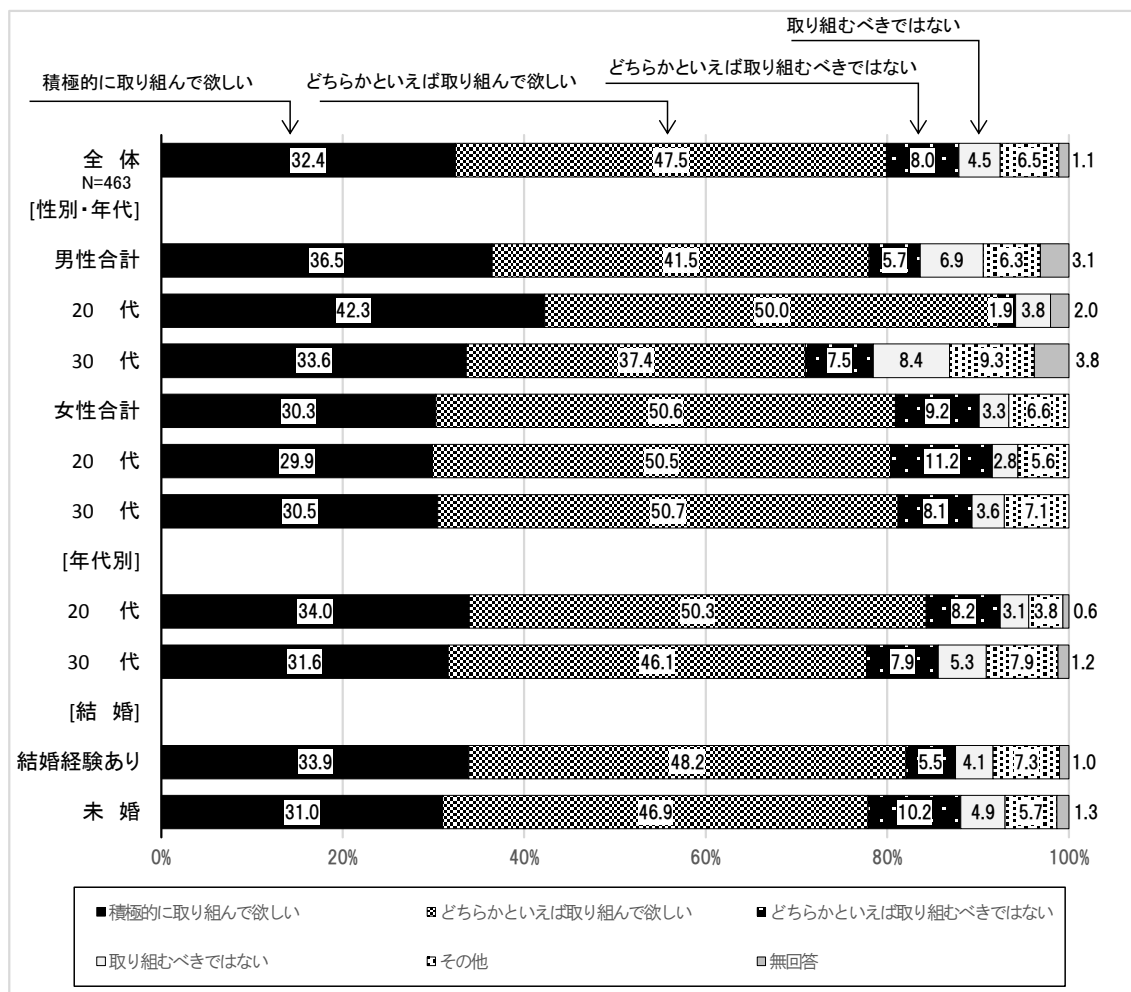


結婚経験者・未婚者の別で見ると、未婚化・晩婚化の理由は「独身生活のほうが自由だから」が結婚経験者 56.4%、未婚者 49.8%、「仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上したから」が結婚経験者 43.1%、未婚者 32.2%となっている。

結婚経験者・未婚者で差異が大きいのは、「女性の仕事、育児に対する負担感、拘束感が大きいから」で、結婚経験者 36.7%に対し未婚者 17.1%となっている。

## (7) 結婚支援への考え・要望

問10 結婚を支援する施策(事業)に県や市町村が取り組むことについてどのように思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを1つ選んでください。

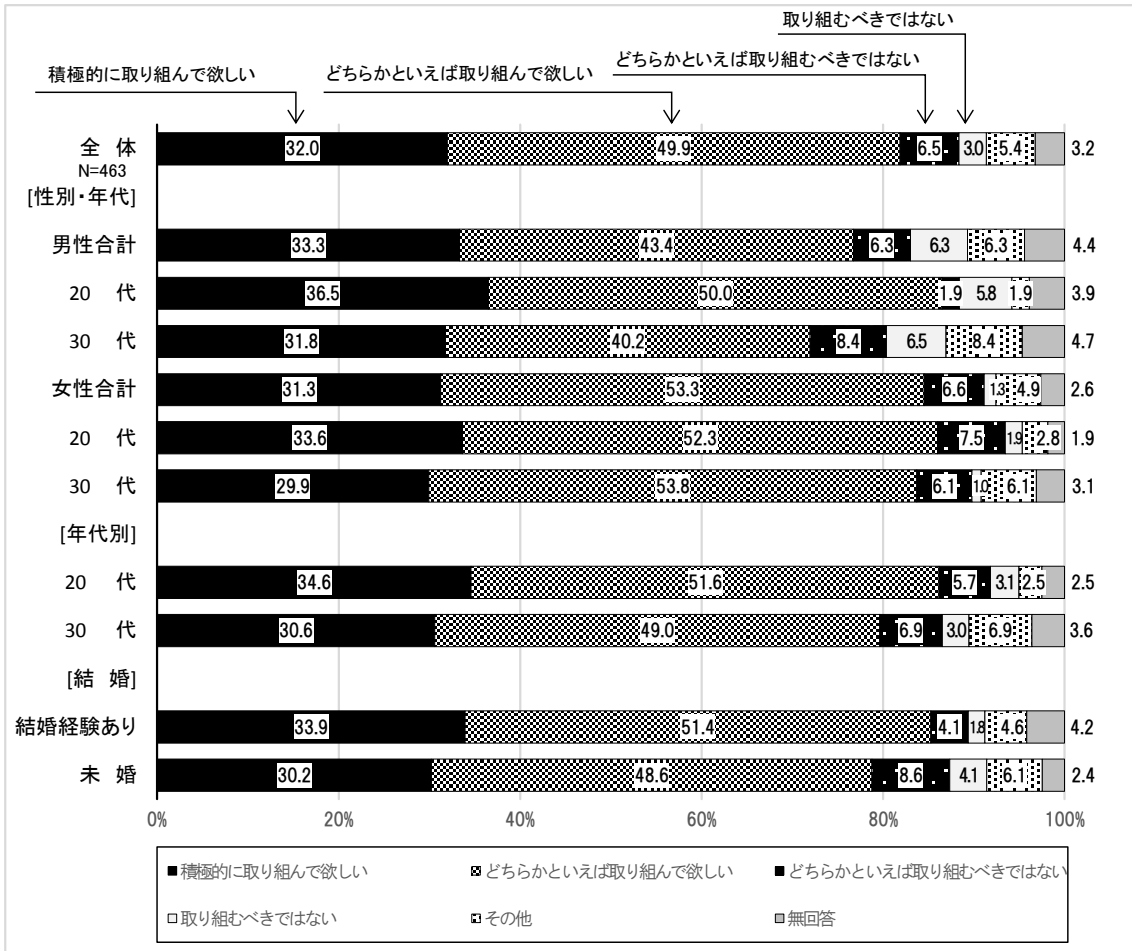


全体では、「どちらかといえば取り組んで欲しい」が47.5%と最も高く、次いで「積極的に取り組んで欲しい」が32.4%となり、取り組みを希望する意見は79.9%となった。

性別・年代でみると、男性20代では「積極的に取り組んで欲しい」、「どちらかといえば取り組んで欲しい」の合計が92.3%と最も高くなった。



問 1 1 結婚を支援する施策（事業）をNPOなどの民間団体や企業が取り組むことについてどのように思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを1つ選んでください。

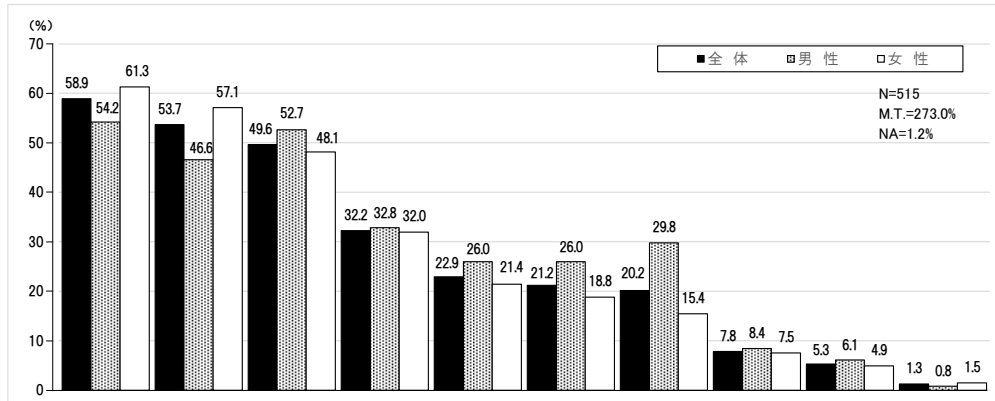


全体では、「どちらかといえば取り組んで欲しい」が49.9%と最も高く、次いで「積極的に取り組んで欲しい」が32.0%となり、取り組みを希望する意見は81.9%となった。

性別・年代で見ると、「積極的に取り組んで欲しい」、「どちらかといえば取り組んで欲しい」の合計が、男性20代で86.5%、女性20代で85.9%と20代が30代に比べて高くなった。

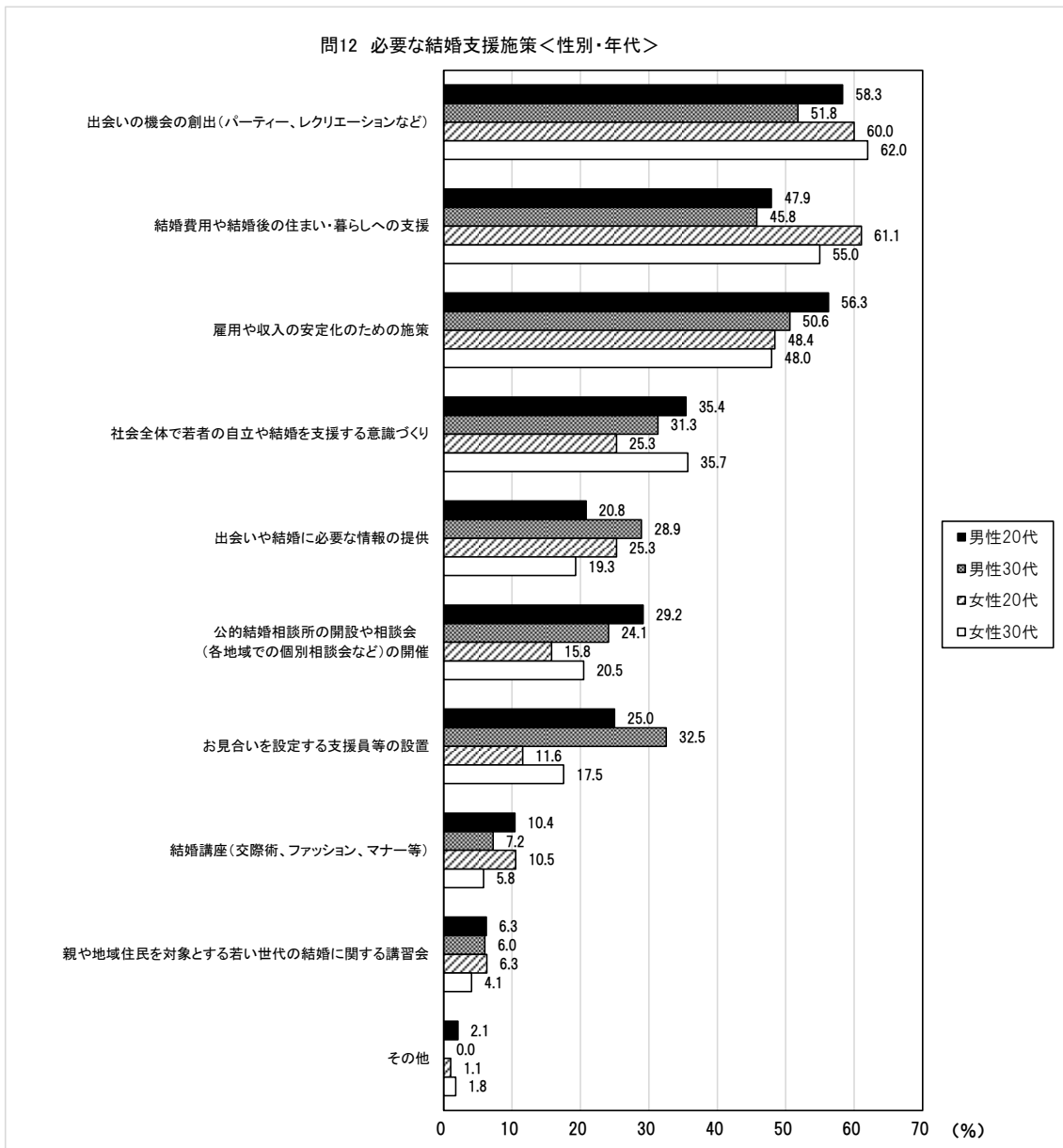
問 1 2 結婚支援施策で、特にどのような取り組みが必要だとお考えですか？  
 あてはまるものをすべて選んでください。

※対象：問 9 または問 10 で「積極的に取り組んで欲しい」または「どちらかといえば取り組んで欲しい」と回答した人



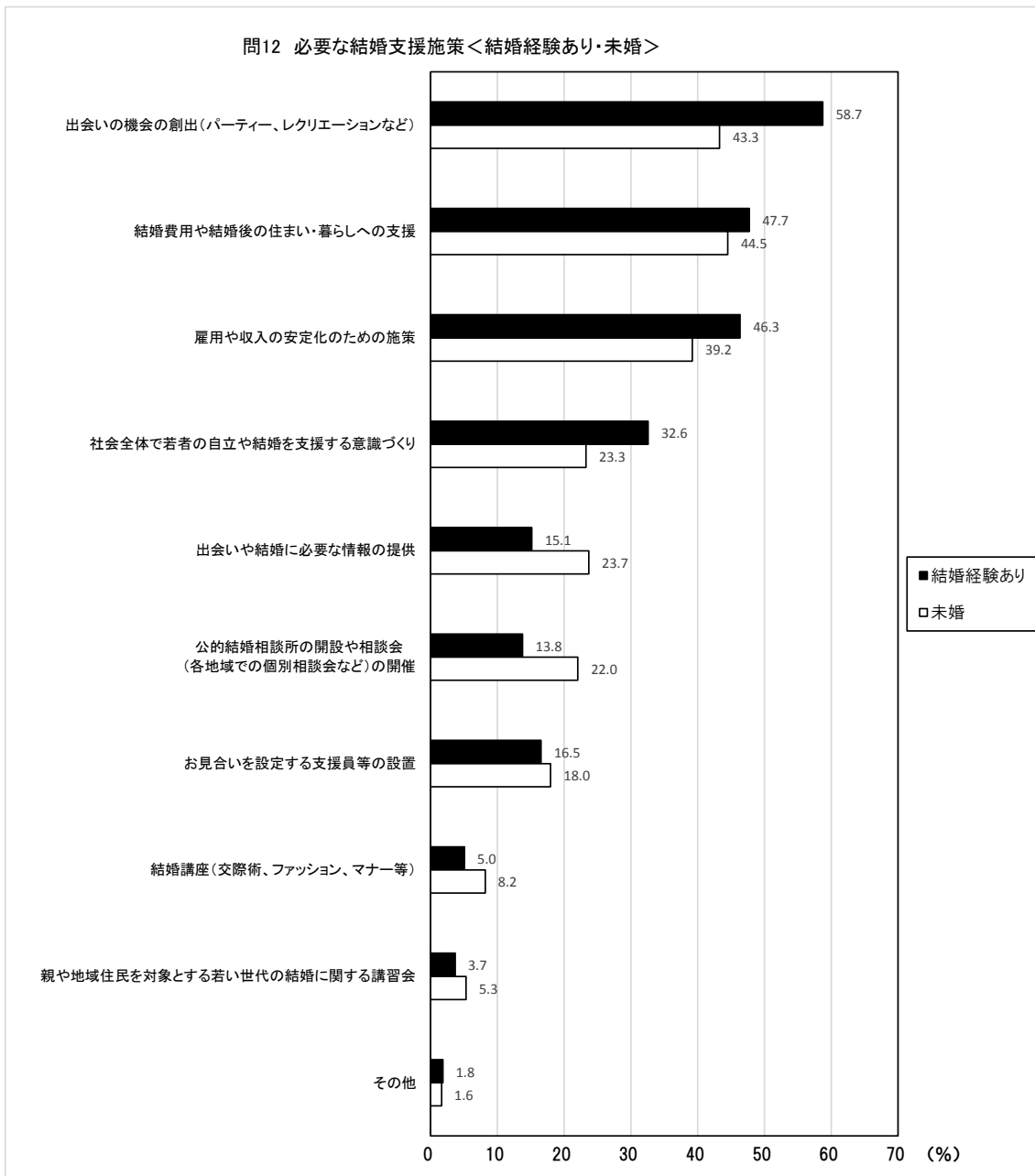
	N	出会いの機会の創出 (パーティー、レクリエーションなど)	結婚費用や結婚後の住まい・暮らしへの支援	雇用や収入の安定化のための施策	社会全体で若者の自立や結婚を支援する意識づくり	出会いや結婚に必要な情報の提供	公的結婚相談所の開設や相談会の開催 (各地域での個別相談会など)	お見合いを設定する支援員等の設置	結婚講座 (交際術、ファッション、マナー等)	親や地域住民を対象とする若い世代の結婚に関する講習会	その他
全体	397	58.9	53.7	49.6	32.2	22.9	21.2	20.2	7.8	5.3	1.3
[性別・年代]											
男性合計	131	54.2	46.6	52.7	32.8	26.0	26.0	29.8	8.4	6.1	0.8
20代	48	58.3	47.9	56.3	35.4	20.8	29.2	25.0	10.4	6.3	2.1
30代	83	51.8	45.8	50.6	31.3	28.9	24.1	32.5	7.2	6.0	0.0
女性合計	266	61.3	57.1	48.1	32.0	21.4	18.8	15.4	7.5	4.9	1.5
20代	95	60.0	61.1	48.4	25.3	25.3	15.8	11.6	10.5	6.3	1.1
30代	171	62.0	55.0	48.0	35.7	19.3	20.5	17.5	5.8	4.1	1.8
[年代別]											
20代	143	59.4	56.6	51.0	28.7	23.8	20.3	16.1	10.5	6.3	1.4
30代	254	58.7	52.0	48.8	34.3	22.4	21.7	22.4	6.3	4.7	2.4
[結婚]											
結婚経験あり	218	58.7	47.7	46.3	32.6	15.1	13.8	16.5	5.0	3.7	1.8
未婚	245	43.3	44.5	39.2	23.3	23.7	22.0	18.0	8.2	5.3	1.6

全体では、「出会いの機会の創出 (パーティー、レクリエーションなど)」が 58.9% と最も高く、次いで「結婚費用や結婚後の住まい・暮らしへの支援」が 53.7%、「雇用や収入の安定化のための施策」が 49.6% となった。



性別・年代で見ると、必要な結婚支援施策は、男性20代、女性20代では「出会いの機会の創出」「結婚費用や結婚後の住まい／暮らしへの支援」「雇用や収入の安定化のための施策」の順となっており、男性30代、女性30代も同様の順となっている。

男性30代において「お見合いを設定する支援員等の設置」32.5%、「出会いや結婚に必要な情報の提供」28.9%の支援を望む回答が多くなっている。

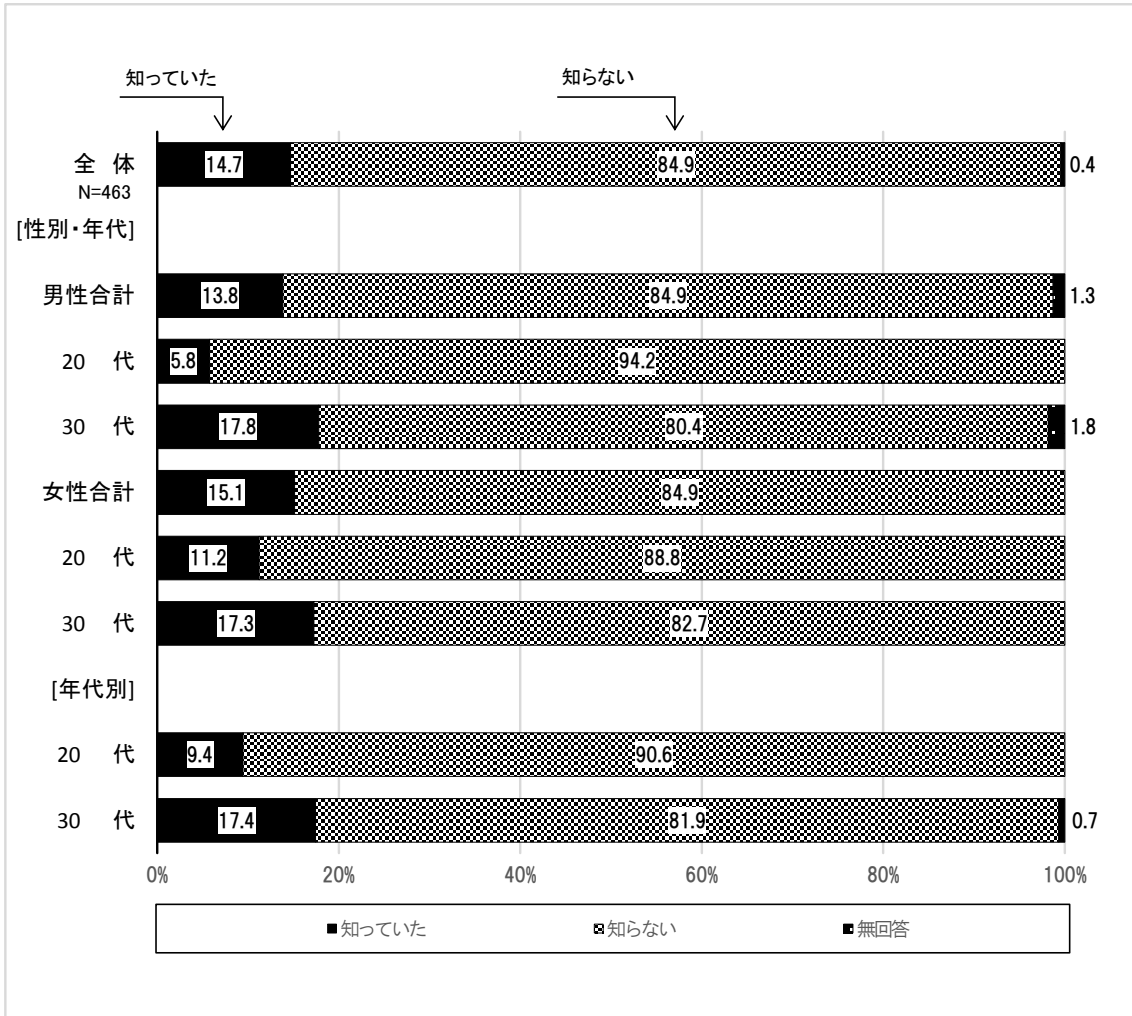


結婚経験者・未婚者の別で見ると、上位4項目では全て結婚経験者が未婚者を上回る結果となった。「出会いの機会の創出(パーティー、レクリエーションなど)」は結婚経験者58.7%、未婚者43.3%と高い割合であるとともに、結婚経験者・未婚者での差異が最も大きい項目となった。

一方、未婚者が結婚経験者を上回った項目としては、「出会いや結婚に必要な情報の提供」や「公的結婚相談所の開設や相談会の開催」となっている。

問13-1 「とやまマリッジサポートセンター」をご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

※とやまマリッジサポートセンター … 結婚を希望する男女に出会いの場を提供する目的で県が平成26年に開設したもの

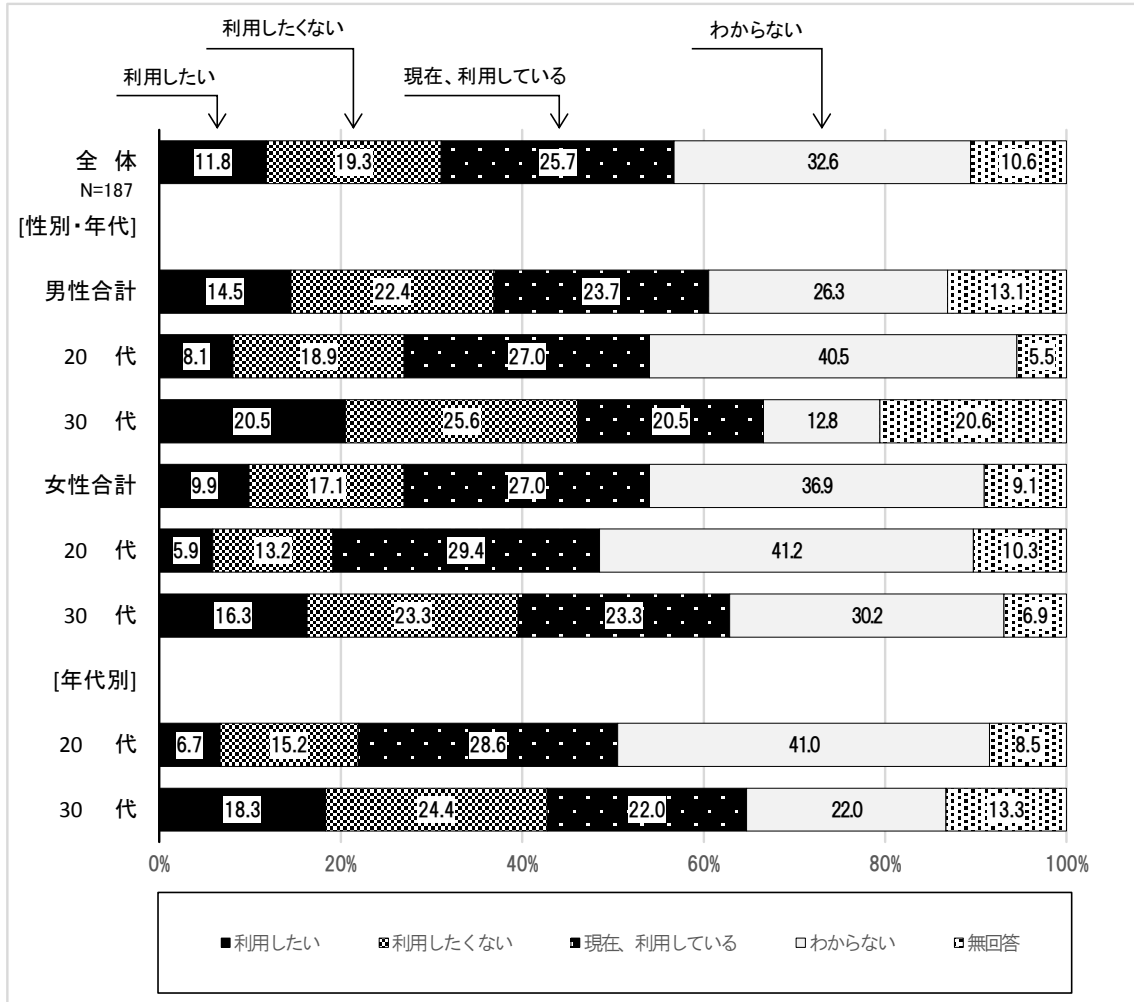


全体では、「知っていた」が14.7%、「知らない」が84.9%となった。

性別で見ると、男性より女性の認知度が高く、年代別で見ると、20代より30代の認知度が高かった。

問13-2 「とやまマリッジサポートセンター」を利用したいですか。

※対象：問2で「すぐにも結婚したい」「2～3年以内に結婚したい」  
または「いずれは結婚したい」と回答した人

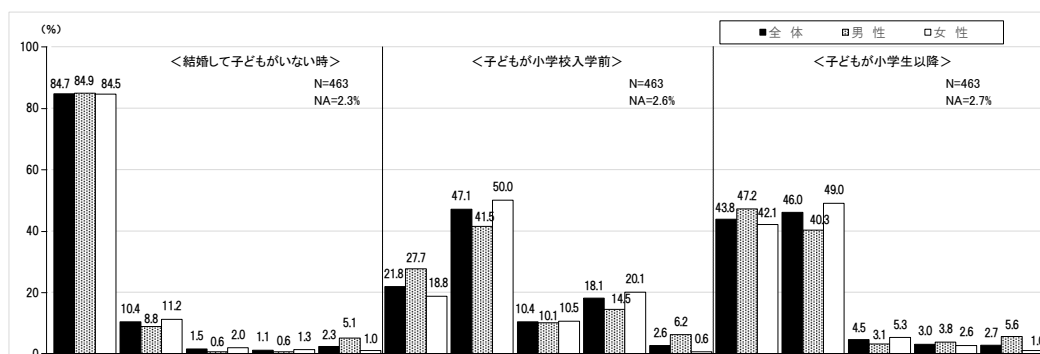


全体では、「利用したい」が11.8%、「利用したくない」が19.3%、「現在、利用している」が25.7%となった。

とやまマリッジサポートセンターの利用意識として、「利用したい」、「現在、利用している」の合計をみると、男性が38.2%、女性が36.9%となっており、年代別では20代が35.3%、30代が40.3%となった。性別では男性、年代別では30代の利用意識が高い結果となった。

## (8) 結婚と仕事

問14 結婚した女性の働き方について、あなたが女性の場合はあなたご自身の希望する働き方を、あなたが男性の場合は配偶者の方に希望する働き方を、結婚や子どもの状況別にそれぞれお答えください。



N	結婚して子どもがない時						子どもが小学校入学前					子どもが小学生以降				
	フルタイムの仕事	短時間勤務制・パート・アルバイト	家でできる仕事	仕事は持たず、子育てに専念する	無回答		フルタイムの仕事	短時間勤務制・パート・アルバイト	家でできる仕事	仕事は持たず、子育てに専念する	無回答	フルタイムの仕事	短時間勤務制・パート・アルバイト	家でできる仕事	仕事は持たず、子育てに専念する	無回答
全体	463	84.7	10.4	1.5	1.1	2.3	21.8	47.1	10.4	18.1	2.6	43.8	46.0	4.5	3.0	2.7

[性別・年代]

性別	年代	フルタイムの仕事	短時間勤務制・パート・アルバイト	家でできる仕事	仕事は持たず、子育てに専念する	無回答	フルタイムの仕事	短時間勤務制・パート・アルバイト	家でできる仕事	仕事は持たず、子育てに専念する	無回答	フルタイムの仕事	短時間勤務制・パート・アルバイト	家でできる仕事	仕事は持たず、子育てに専念する	無回答	
男性	合計	159	84.9	8.8	0.6	0.6	5.1	27.7	41.5	10.1	14.5	6.2	47.2	40.3	3.1	3.8	5.6
	20代	52	88.5	9.6	0.0	1.9	0.0	28.8	40.4	11.5	17.3	2.0	50.0	40.4	3.8	5.8	0.0
	30代	107	83.2	8.4	0.9	0.0	7.5	27.1	42.1	9.3	13.1	8.4	45.8	40.2	2.8	2.8	8.4
女性	合計	304	84.5	11.2	2.0	1.3	1.0	18.8	50.0	10.5	20.1	0.6	42.1	49.0	5.3	2.6	1.0
	20代	107	79.4	13.1	4.7	1.9	0.9	19.6	44.0	11.2	25.2	0.0	43.0	42.1	10.3	3.7	0.9
	30代	197	87.3	10.2	0.5	1.0	1.0	18.3	53.3	10.2	17.3	0.9	41.6	52.8	2.5	2.0	1.1

[年代別]

年代	フルタイムの仕事	短時間勤務制・パート・アルバイト	家でできる仕事	仕事は持たず、子育てに専念する	無回答	フルタイムの仕事	短時間勤務制・パート・アルバイト	家でできる仕事	仕事は持たず、子育てに専念する	無回答	フルタイムの仕事	短時間勤務制・パート・アルバイト	家でできる仕事	仕事は持たず、子育てに専念する	無回答	
20代	159	82.4	11.9	3.1	1.9	0.7	22.6	42.8	11.3	22.6	0.7	45.3	41.5	8.2	4.4	0.6
30代	304	85.9	9.5	0.7	0.7	3.2	21.4	49.3	9.9	15.8	3.6	43.1	48.4	2.6	2.3	3.6

[結婚]

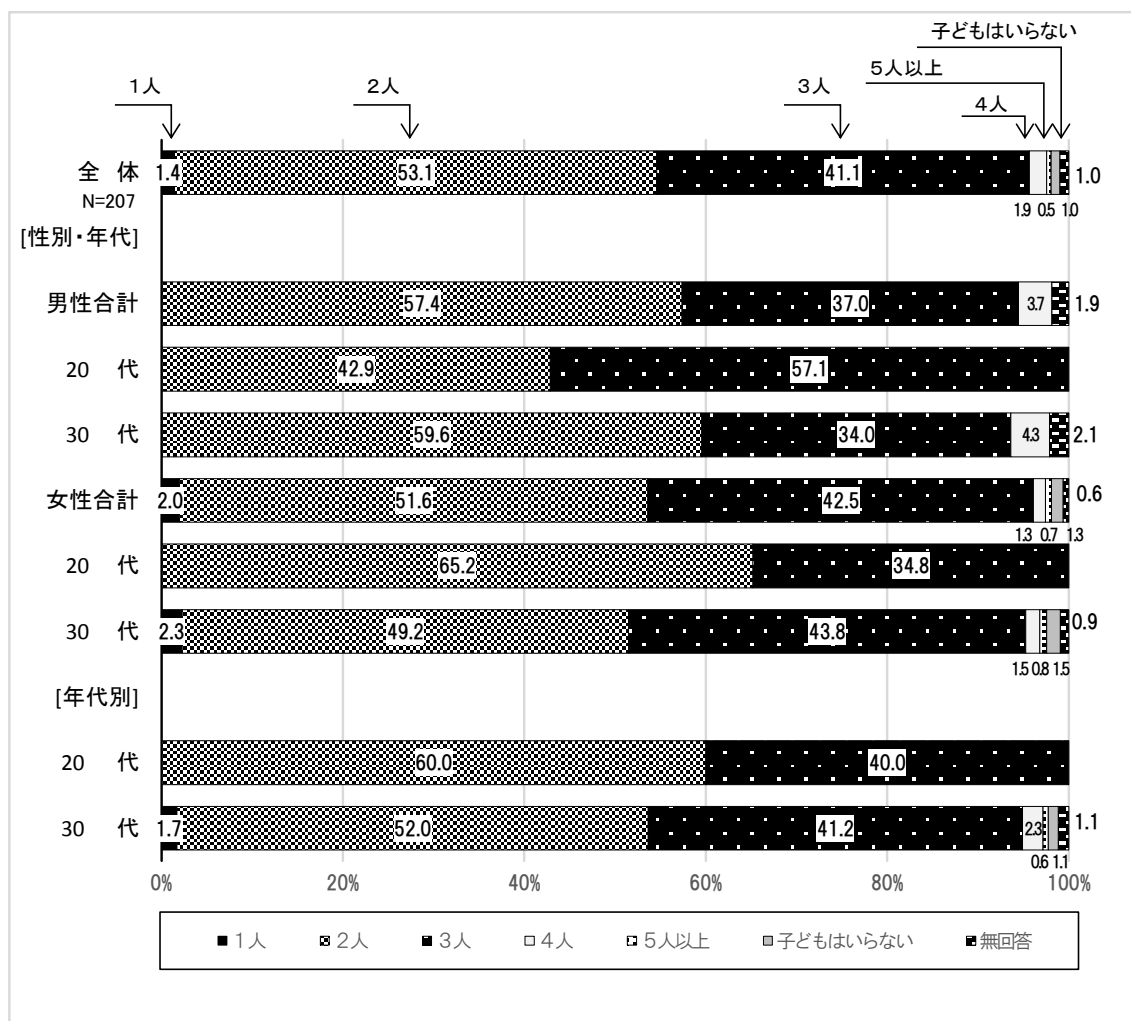
結婚経験	フルタイムの仕事	短時間勤務制・パート・アルバイト	家でできる仕事	仕事は持たず、子育てに専念する	無回答	フルタイムの仕事	短時間勤務制・パート・アルバイト	家でできる仕事	仕事は持たず、子育てに専念する	無回答	フルタイムの仕事	短時間勤務制・パート・アルバイト	家でできる仕事	仕事は持たず、子育てに専念する	無回答	
結婚経験あり	218	90.4	5.0	0.5	1.4	2.7	21.1	53.2	9.2	13.8	2.7	43.1	49.1	3.2	1.4	3.2
未婚	245	79.6	15.1	2.4	0.8	2.1	22.4	41.6	11.4	22.0	2.6	44.5	43.3	5.7	4.5	2.0

全体では、結婚して子どもがない時の働き方として「フルタイムの仕事」が84.7%と大半を占める結果となった。子どもが小学校入学前では「短時間勤務制・パート・アルバイト」が47.1%、子どもが小学生以降では「短時間勤務制・パート・アルバイト」が46.0%、「フルタイムの仕事」が43.8%となった。

## (9) 子どもの人数

問15 あなた方ご夫婦にとって、理想的な子どもの数は何人ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

※対象：現在、結婚している人



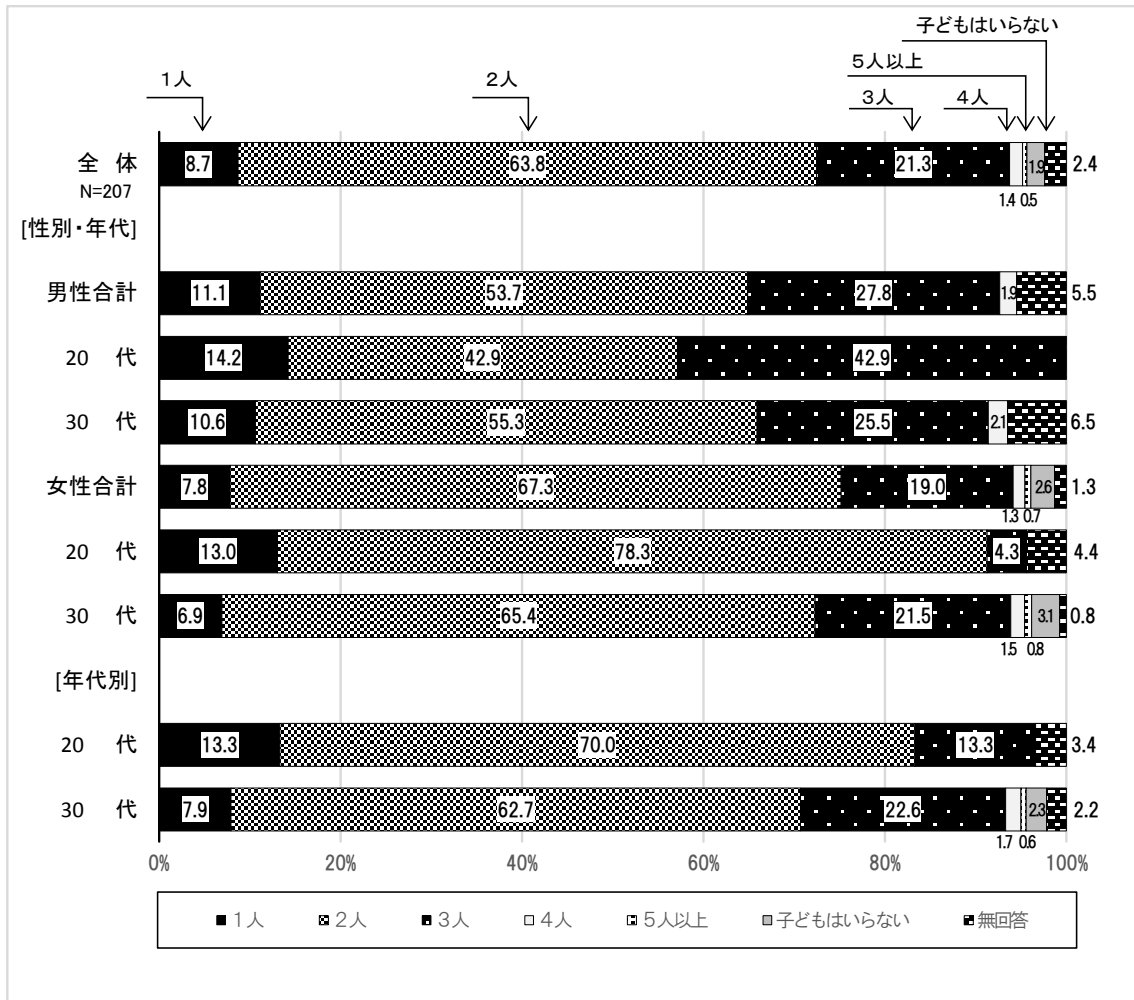
全体では、「2人」が53.1%と最も高く、次いで「3人」が41.1%となり、合計94.2%と大半を占めた。

性別・年代で見ると、20代男性では「3人」、30代男性と20～30代女性では「2人」の割合が高くなっている。



問16 あなた方ご夫婦にとって、実際に持つつもりの子どもの数は何人ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

※対象：現在、結婚している人



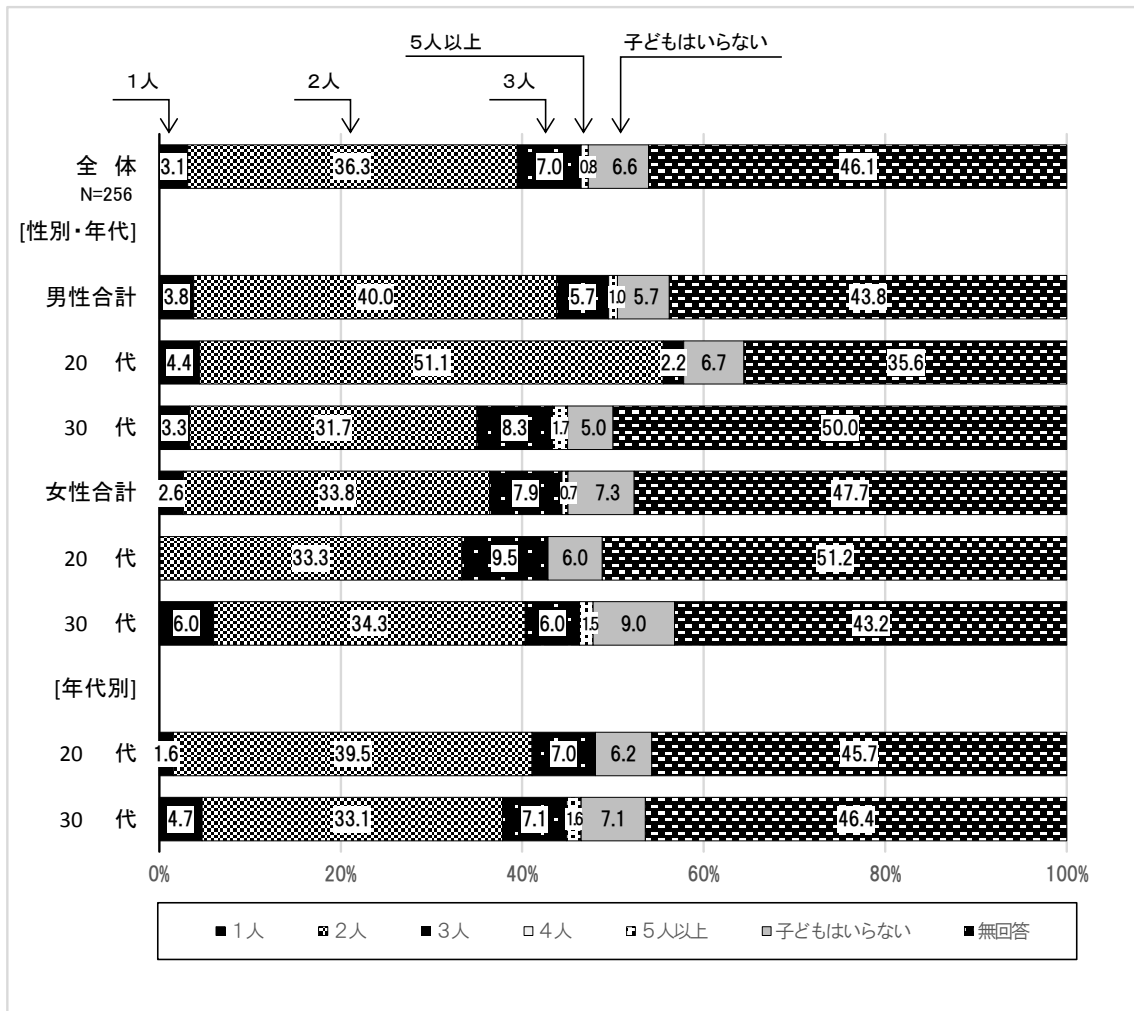
全体では、「2人」が63.8%と最も高く、次いで「3人」が21.3%となった。

性別で見ると、男性では「2人」が53.7%と最も高く、次いで「3人」が27.8%となり、女性では「2人」が67.3%と最も高く、次いで「3人」が19.0%となった。

年代別で見ると、20代では「1人」「2人」の割合が30代より高く、30代では「3人」の割合が20代より高くなった。

問17 あなたは、子どもは何人くらい欲しいですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

※対象：「結婚していたが、死別・離別した」または「今まで結婚したことはない」と回答した人

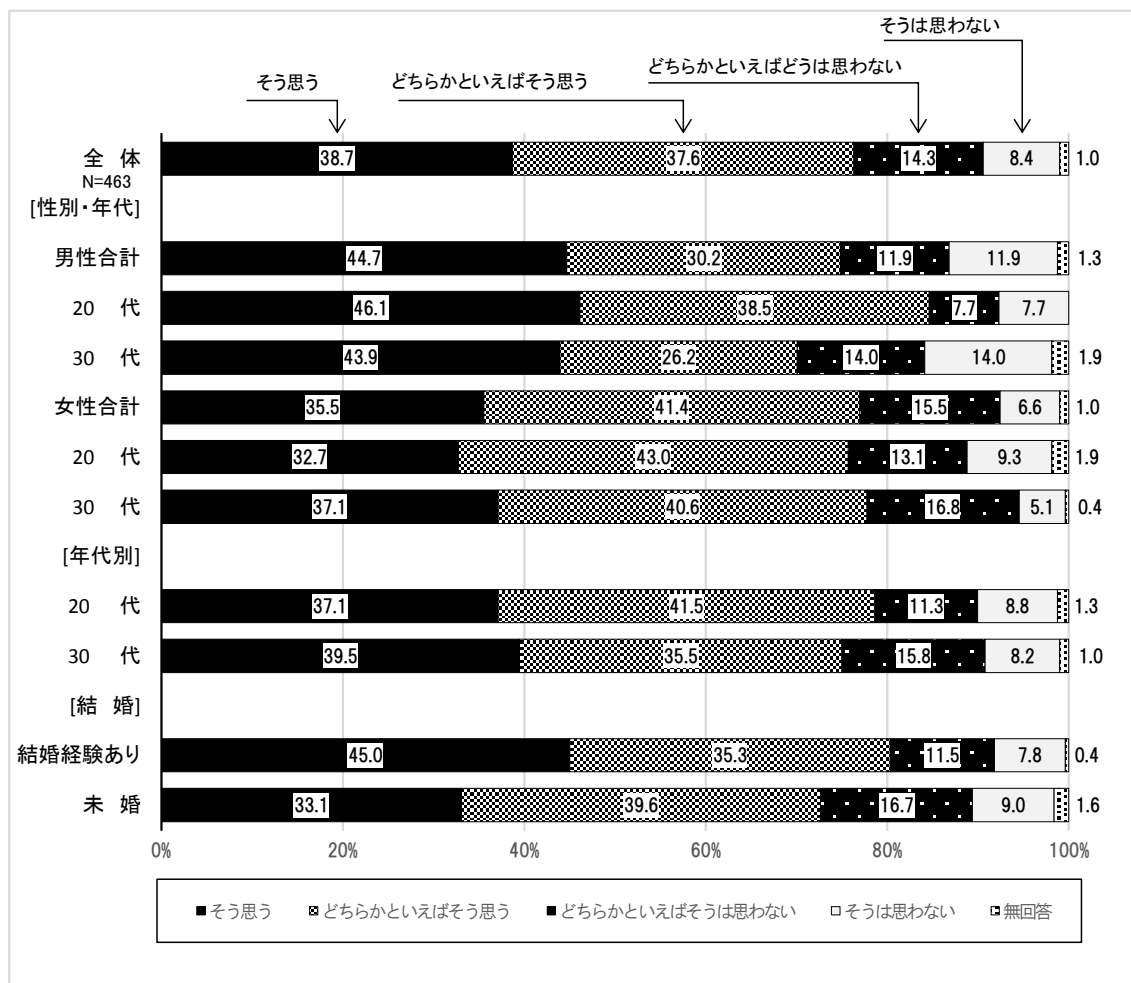


全体では、「2人」が36.3%と最も高く、次いで「3人」が7.0%となった。

性別で見ると、男性では「2人」が40.0%、「3人」が5.7%となり、女性では「2人」が33.8%、「3人」が7.9%となった。

## (10) 少子化対策への考え・要望

問18 国や自治体が、経済的支援や保育サービスの提供、仕事と子育ての両立支援といった現在の少子化対策を十分に拡充していけば、「子どもが欲しい」または「もう1人子どもが欲しい」という気持ちになると思いませんか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。



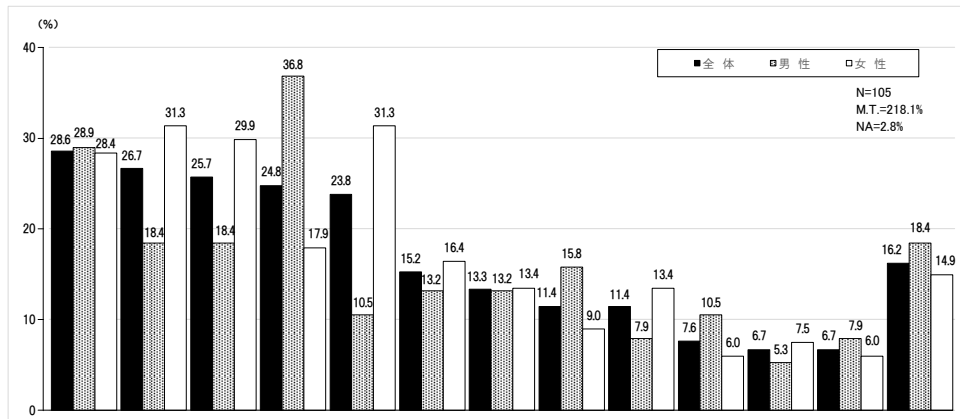
全体では、「そう思う」が38.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が37.6%となり、肯定的な意見は76.3%となった。

性別で見ると、肯定的な意見は、男性が74.9%となり、女性が76.9%となった。

結婚経験者・未婚者の別で見ると、未婚者より結婚経験者の方が肯定的な意見の割合が高かった。

問19 あなたは、少子化対策を拡充しても、「子どもが欲しい」または「もう1人子どもが欲しい」という気持ちにならないと思うのはどうしてですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※対象：問18で「どちらかといえばそうは思わない」または「そうは思わない」と回答した人



	N	から自分の趣味や時間を大切にしたい	今の子供の数で十分だと思うから	日々の生活が忙しく、自分や家族のことで精一杯だから	子どもの数は少子化対策とは関係ないから	年齢、体力的、医学的な事情があるから	親となる自信が持てないから	子育てへの抵抗感が強いから	夫婦の生活を大切にしたいから	夫や家族の協力が得られず、育児が大変だから	子どもを持つことが煩わしいから	人間関係が複雑になるから	パートナーがいない又はパートナーが子どもを欲しくないと考え	その他
全体	105	28.6	26.7	25.7	24.8	23.8	15.2	13.3	11.4	11.4	7.6	6.7	6.7	16.2

【性別・年代】

性別	N	から自分の趣味や時間を大切にしたい	今の子供の数で十分だと思うから	日々の生活が忙しく、自分や家族のことで精一杯だから	子どもの数は少子化対策とは関係ないから	年齢、体力的、医学的な事情があるから	親となる自信が持てないから	子育てへの抵抗感が強いから	夫婦の生活を大切にしたいから	夫や家族の協力が得られず、育児が大変だから	子どもを持つことが煩わしいから	人間関係が複雑になるから	パートナーがいない又はパートナーが子どもを欲しくないと考え	その他
男性合計	38	28.9	18.4	18.4	36.8	10.5	13.2	13.2	15.8	7.9	10.5	5.3	7.9	18.4
20代	8	12.5	12.5	0.0	50.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5
30代	30	33.3	20.0	23.3	33.3	13.3	13.3	16.7	16.7	10.0	10.0	6.7	10.0	20.0
女性合計	67	28.4	31.3	29.9	17.9	31.3	16.4	13.4	9.0	13.4	6.0	7.5	6.0	14.9
20代	24	33.3	20.8	33.3	12.5	20.8	20.8	12.5	4.2	20.8	8.3	4.2	8.3	20.8
30代	43	25.6	37.2	27.9	20.9	37.2	14.0	14.0	11.6	9.3	4.7	9.3	4.7	11.6

【年代別】

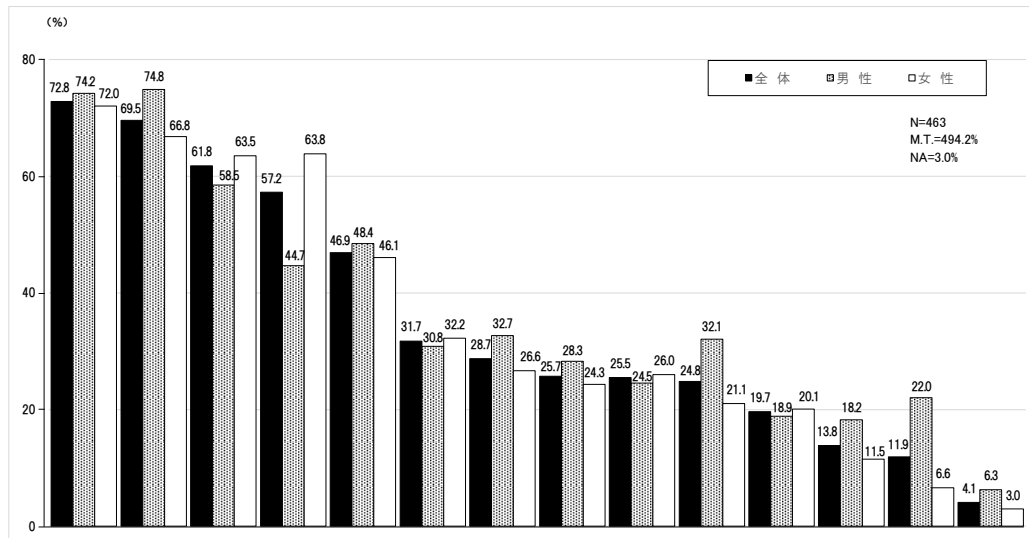
年代	N	から自分の趣味や時間を大切にしたい	今の子供の数で十分だと思うから	日々の生活が忙しく、自分や家族のことで精一杯だから	子どもの数は少子化対策とは関係ないから	年齢、体力的、医学的な事情があるから	親となる自信が持てないから	子育てへの抵抗感が強いから	夫婦の生活を大切にしたいから	夫や家族の協力が得られず、育児が大変だから	子どもを持つことが煩わしいから	人間関係が複雑になるから	パートナーがいない又はパートナーが子どもを欲しくないと考え	その他
20代	32	28.1	18.8	25.0	21.9	15.6	18.8	9.4	6.3	15.6	9.4	3.1	6.3	18.8
30代	73	28.8	30.1	26.0	26.0	27.4	13.7	15.1	13.7	9.6	6.8	8.2	6.8	15.1

全体では、「自分の趣味や時間を大切にしたいと思うから」が28.6%と最も高く、次いで「今の子供の数で十分だと思うから」が26.7%となった。

性別で見ると、「子どもの数は少子化対策とは関係ないから」が男性36.8%に対し女性17.9%と男性が18.9ポイント上回っている。

一方「年齢、体力的、医学的な事情があるから」で男性10.5%に対し女性31.3%と女性が20.8ポイント、「今の子供の数で十分だと思うから」で男性18.4%に対し女性31.3%と女性が12.9ポイント、「日々の生活が忙しく、自分や家族のことで精一杯だから」で男性18.4%に対し女性29.9%と女性が11.5ポイント上回る結果となった。

問20 行政が、結婚・出産・少子化対策に取り組む上で、どのような施策を拡充すべきと考えますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



	N	保育料・教育費等の支援、軽減	児童手当の拡充や子育て減税などの経済的支援	育児休業の取得促進や長時間労働の働き方の見直し	保育サービスや放課後児童クラブなど子どもの預け場所、居場所の整備	子どもの医療費にかかる経済的負担への支援	乳幼児連れでも外出しやすい街づくり	小児の救急医療体制の整備	子育て支援センターやファミリーサポートセンターなど地域における子育て支援事業の充実	備や治療費助成制度の充実	不妊や不育症に関する相談窓口の整備	多子世帯(子ども3人以上)に着目した子育て支援	子育て不安解消のための相談窓口の充実	親を対象にした子育て講座の充実	三世帯同居や近居を進めるための施策の推進	その他
全体	463	72.8	69.5	61.8	57.2	46.9	31.7	28.7	25.7	25.5	24.8	19.7	13.8	11.9	4.1	

[性別・年代]

性別・年代	N	保育料・教育費等の支援、軽減	児童手当の拡充や子育て減税などの経済的支援	育児休業の取得促進や長時間労働の働き方の見直し	保育サービスや放課後児童クラブなど子どもの預け場所、居場所の整備	子どもの医療費にかかる経済的負担への支援	乳幼児連れでも外出しやすい街づくり	小児の救急医療体制の整備	子育て支援センターやファミリーサポートセンターなど地域における子育て支援事業の充実	備や治療費助成制度の充実	不妊や不育症に関する相談窓口の整備	多子世帯(子ども3人以上)に着目した子育て支援	子育て不安解消のための相談窓口の充実	親を対象にした子育て講座の充実	三世帯同居や近居を進めるための施策の推進	その他
男性合計	159	74.2	74.8	58.5	44.7	48.4	30.8	32.7	28.3	24.5	32.1	18.9	18.2	22.0	6.3	
20代	52	80.8	84.6	59.6	40.4	42.3	19.2	25.0	25.0	13.5	30.8	11.5	19.2	25.0	0.0	
30代	107	71.0	70.1	57.9	46.7	51.4	36.4	36.4	29.9	29.9	32.7	22.4	17.8	20.6	9.3	
女性合計	304	72.0	66.8	63.5	63.8	46.1	32.2	26.6	24.3	26.0	21.1	20.1	11.5	6.6	3.0	
20代	107	67.3	65.4	62.6	47.7	40.2	29.9	23.4	17.8	17.8	14.0	17.8	14.0	9.3	3.7	
30代	197	74.6	67.5	64.0	72.6	49.2	33.5	28.4	27.9	30.5	24.9	21.3	10.2	5.1	2.5	

[年代別]

年代	N	保育料・教育費等の支援、軽減	児童手当の拡充や子育て減税などの経済的支援	育児休業の取得促進や長時間労働の働き方の見直し	保育サービスや放課後児童クラブなど子どもの預け場所、居場所の整備	子どもの医療費にかかる経済的負担への支援	乳幼児連れでも外出しやすい街づくり	小児の救急医療体制の整備	子育て支援センターやファミリーサポートセンターなど地域における子育て支援事業の充実	備や治療費助成制度の充実	不妊や不育症に関する相談窓口の整備	多子世帯(子ども3人以上)に着目した子育て支援	子育て不安解消のための相談窓口の充実	親を対象にした子育て講座の充実	三世帯同居や近居を進めるための施策の推進	その他
20代	159	71.7	71.7	61.6	45.3	40.9	26.4	23.9	20.1	16.4	19.5	15.7	15.7	14.5	2.5	
30代	304	73.4	68.4	61.8	63.5	50.0	34.5	31.3	28.6	30.3	27.6	21.7	12.8	10.5	4.9	

[結婚]

結婚状況	N	保育料・教育費等の支援、軽減	児童手当の拡充や子育て減税などの経済的支援	育児休業の取得促進や長時間労働の働き方の見直し	保育サービスや放課後児童クラブなど子どもの預け場所、居場所の整備	子どもの医療費にかかる経済的負担への支援	乳幼児連れでも外出しやすい街づくり	小児の救急医療体制の整備	子育て支援センターやファミリーサポートセンターなど地域における子育て支援事業の充実	備や治療費助成制度の充実	不妊や不育症に関する相談窓口の整備	多子世帯(子ども3人以上)に着目した子育て支援	子育て不安解消のための相談窓口の充実	親を対象にした子育て講座の充実	三世帯同居や近居を進めるための施策の推進	その他
結婚経験あり	218	76.6	73.9	61.5	67.9	47.2	37.2	29.8	25.7	29.8	31.2	16.1	10.1	8.7	4.1	
未婚	245	69.4	65.7	62.0	47.8	46.5	26.9	27.8	25.7	21.6	19.2	22.9	17.1	14.7	4.1	

全体では、「保育料・教育費等の支援、軽減」72.8%を筆頭に、「児童手当の拡充や子育て減税などの経済的支援」69.5%、「育児休業の取得促進や長時間労働の是正など仕事と生活の調和がとれる働き方の見直し」61.8%の順となっている。

性別で見ると、「三世代同居や近居を進めるための施策の推進」男性 22.0%に対し女性 6.6%と男性が 15.4 ポイント、「多子世帯（子ども 3人以上）に着目した子育て支援」男性 32.1%に対して女性 21.1%と男性が 11.0 ポイント上回っている。

一方、女性が男性を大きく上回ったのは「保育サービスや放課後児童クラブなど子どもの預け場所、居場所の整備」で、男性 44.7%に対し女性 63.8%と 19.1 ポイント上回っている。

## (11) 自由回答

結婚・出産、少子化対策について、どのようなことでも結構ですので、ご意見をお書きください。

結婚・出産、少子化対策について、150件の意見、要望があった。  
主な内容の項目と件数は次のとおりとなっている。

項目		件数
結婚関係 計		50
1	出会いの機会の創出	6
2	情報の提供や意識啓発	5
3	雇用や収入の安定化	3
4	その他	36
出産・子育て関係 計		93
1	経済的な不安、経済的支援の要請	26
2	子どもの預け場所、居場所の整備	14
3	費用負担軽減	14
4	働き方の改善	7
5	育児と仕事の両立支援	6
6	働く女性の支援	6
7	企業側の子育て支援、意識の変化	4
8	支援内容の充実、質の向上	3
9	相談窓口	3
10	その他	10
その他（結婚関係、出産・子育て関係以外） 計		7
合計		150

以下、主な意見、要望を列挙する。

### 結婚関係

#### 1. 出会いの機会の創出

- ・婚活パーティーに参加する男性は多いが女性は少ない。女性の参加費の設定が安い場合は、食事目的や遊び目的で来ている女性が多い。パーティーに参加しても同じ人しかいない。(男性 30代)
- ・婚活市場には、積極的な女子と消極的な男子が集まるため、そもそもミスマッチ。同窓会の開催に助成するなど、自然と「男女の交流が持てる場」を支援したほうがUターン等も増えるのではないかと。また行政主体ではなく、民間企業に委託してはどうか。(女性 20代、30代)

## **2. 情報の提供や意識啓発**

- ・今回のアンケートで「とやまマリッジサポートセンター」を初めて知った。ぜひネットや新聞等で活動の周知をお願いしたい。またどこに行けばそのような情報が入手出来るか知りたい。(男性 20 代、30 代)

## **3. 雇用や収入の安定化**

- ・男性の収入が多くなれば、結婚や結婚後の子育てもスムーズになるのではないかと。(男性 20 代)

## **4. その他**

- ・少子化だと言っても、身近に感じていないのではないかと。もっと郊外の方にも注目が集まるようにすることによって地方の減少は抑えられ、生活が充実し、その流れの中で結婚、出産と自然になっていくのではないかと。(男性 20 代)
- ・男性が消極的になったこともあるが、女性が男性に求める条件が厳しくなったのではないかと。婚活パーティーは男性側の負担が大きい。出会いの場の創出は必要だとは思いますが、少なからず不平等感を感じる方がいると思う。(男性 20 代)
- ・高校や大学で結婚の魅力や少子高齢化の現実についての授業があれば良いと思う。今の若者は将来に明るい見通しをあまり持っておらず、高校や大学での指導が大切。(女性 20 代)

## **出産・子育て関係**

### **1. 経済的な不安、経済的支援の要請**

- ・子育てに専念できる時期も必要であると考えます。共働きで、母との愛着がないまま育てている子が多いのではないかと。その子たちが大人になってよい社会を作れるか不安。子供の頃の子育てを守れる、経済的支援が一番大切。(男性 30 代)
- ・周囲には、経済的理由から、子どもをこれ以上産まないと選択する人が多い。子ども 1 人にかかる経済的負担が大きい。(女性 20 代、30 代)

### **2. 子どもの預け場所、居場所の整備**

- ・保育園に入園しやすくしてほしい。以前の職場は産休、育休がなく産まれる直前まで働いたが、退職したため一から職場探し。ハローワークに子供を連れて行くのも人目が気になり大変。(女性 20 代、30 代)
- ・学童保育の定員が少なく利用できていない。長期の休みに子供を預ける所がなく



(低学年のため、一人で家にいさせるのは不安) 仕事を短縮するなど、家事に支障が出ている。長期の休みに預かってもらえる環境が整うとよい。(女性 20代、30代)

- ・放課後児童クラブの数(受入人数)、受入時間(長期休暇を含めて)を増やして欲しい。学童保育は受入時間が短いため利用は難しく、民間も抽選なので不安。(女性 20代、30代)

### **3. 費用負担軽減**

- ・保育料、教育費、医療費の支援の拡充と同時に希望する保育所等にすぐ入れるようにして欲しい。(女性 30代)
- ・富山市と富山市以外では、3人目の保育料が違うため、同一サービスとして欲しい。(女性 30代)
- ・子供の予防接種などの費用負担が大きいため、支援を厚くして欲しい。(男性 30代)

### **4. 働き方の改善**

- ・企業側の労働時間に対する考えの見直しが必要。(男性 30代)
- ・働き方改革が進み、時間外労働の常態化が改善され、時短勤務やフレックスタイム制が一般化すれば、間接的だが少子化対策にもつながると思う。次の世代のために施策が進んで欲しい。(女性 30代)

### **5. 育児と仕事の両立支援**

- ・子供が病気ときは仕事を休まなくてはならず、また残業出来ないため職場に迷惑がかかる。いつ何が起こるか分からないため、仕事と育児の両立が難しい。(女性 30代)
- ・フルタイムの場合、学童保育の終了時間に間に合わないためパートに変更せざるを得ない。(女性 30代)
- ・経済的な理由からフルタイムで働かなければならず、家事と育児の両立が難しい。(女性 20代)

## **6. 働く女性の支援**

- ・子育てに関して出産、育児、仕事、家事と女性の負担が大きい時代だと痛感している。女性目線での支援、サポートを充実させて欲しい。(女性 30 代)
- ・結婚してから、女性の負担が増える。全部は出来ないということを、女性も周りの人も理解して欲しい。(女性 30 代)
- ・少子化は問題ではあるが、必ずしも女性は結婚して子どもを持たなくてもいいと思う。対策をすれば出産、子育てをしやすい環境にすることが大事。(女性 30 代)

## **7. 企業側の子育て支援、意識の変化**

- ・企業は女性が結婚、妊娠、出産しやすいような環境を作っていくことが大切なのではないか。例えば時短や年休取得に対する周囲の見方を変える。(女性 20 代)
- ・子育てしながら正社員やフルタイムで働けるようにもっと支援して欲しい。企業側に理解してもらえるように、働きやすいようにして欲しい。(女性 30 代)

## **8. 支援内容の充実、質の向上**

- ・女性の数自体が減っているため、女性 1 人あたりの子供の数の増加が鍵となるが現在の社会保障政策は高齢者向けである。このため、目先の支援だけでは効果はないと考える。(男性 30 代)
- ・年の差婚の夫婦への支援があれば良い。夫が年上、妻が年下の場合、男性の年齢を考えると、たくさん子供が欲しくても金銭的にも体力的にも躊躇してしまうのではないか。(女性 30 代)

## **9. 相談窓口**

- ・交際→結婚→出産等について、身近な親や親戚といった安心出来る存在からの話や相談、サポートがあれば良いが、今はなかなか難しい。それぞれの良いネットワークがあれば、もう一歩進めることが出来るのではないか。(女性 20 代)
- ・不妊治療をしていたが、身内以外にも相談出来る先が欲しい。またプライバシーを守って欲しい。(女性 30 代)

## **10. その他**

- ・保育士の給料を上げていかないと、保育士がいなくなってしまうのではないか。(男性 20 代)
- ・子供、子連れに優しい世の中にする事が大切。富山は、都会と比べると子育て環境の良い所が沢山ある。(女性 30 代)

# 「結婚等に関する県民意識調査」への ご協力をお願い

この調査は、県内在住の20～30代の皆さまを対象に結婚や出産についての率直な思いや意識をお伺いすることで、今後の県の結婚支援施策や少子化対策に役立てることを目的としております。調査にご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、この調査票は、無作為による抽出で選ばせていただいた方にお送りしております。ここで聞きしたことを他の目的に使うことはありませんし、個人情報には厳重に取り扱います。

回答につきましては、下記「(1) 調査票による回答」または「(2) Webによる回答」のいずれかの方法にてお願いいたします。両方お答えいただく必要はございません。

※この調査は、平成29年10月1日 現在でお答えください。

## ご回答方法について

### (1) 調査票による回答の場合

○調査対象者ご自身がお記入くださいますようお願いいたします。

○ご記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いします。

○調査票は、必要事項をご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送くださいますようお願いいたします。

### (2) Webによる回答の場合

○「①URL」もしくは「②QRコード」よりアクセスしてください。

(URL)

<https://questant.jp/q/toyamamarriage>

(QRコード)



※平成29年 **11月30日(木)** までにご返送(ご回答)願います。

□お問合せ先

富山県総合政策局 少子化対策・県民活躍課 少子化対策係 TEL 076-444-2174

□調査票送付先

株式会社ジェック経営コンサルタント TEL: 076-444-0035 担当: 田中、谷

(この調査は株式会社ジェック経営コンサルタントに委託しております。)

## 「結婚等に関する県民意識調査」

【平成 29 年 10 月 1 日現在のあなたご自身のことについて、該当する数字を○で囲んでください。  
記入欄（F 2、F 7-2）には数字をご記入ください。】

F 1 あなたの性別は？

1. 男性                  2. 女性

F 2 あなたの年齢は？

(                  ) 歳

F 3 あなたのお住まいの市町村は？

1. 富山市（旧富山市）  
2. 富山市（旧大沢野町、旧大山町、旧八尾町、旧婦中町、旧山田村、旧細入村）  
3. 高岡市                  4. 魚津市                  5. 氷見市                  6. 滑川市  
7. 黒部市                  8. 砺波市                  9. 小矢部市                  10. 南砺市  
11. 射水市                  12. 舟橋村                  13. 上市町                  14. 立山町  
15. 入善町                  16. 朝日町

F 4 あなたのご職業は？

1. 自営業（自由業、家族従事者を含む）                  2. 雇用者（正社員、公務員などの正規職員）  
3. パートタイマー・派遣等の非正規雇用者                  4. その他の仕事  
5. 学生    6. 無職・家事専業

F 5 あなたは、現在結婚していますか？

1. 結婚している    } 【結婚経験あり】  
2. 結婚していたが、死別・離別した                                  }  
3. 今まで結婚したことはない    } 【未婚】

F 6 F 5で「1. 結婚している」と答えた方にお尋ねします。ご夫婦の初再婚の別をお答えください。

- 「あなたについて」                  ⇒    1. 初婚                  2. 離婚後再婚                  3. 死別後再婚  
「あなたの配偶者について」      ⇒    1. 初婚                  2. 離婚後再婚                  3. 死別後再婚

F 7-1 あなたはお子さまがいらっしゃいますか？

あてはまるものを1つ選んでください。（1つに○）

1. 1人                  2. 2人                  3. 3人                  4. 4人以上                  5. 子どもはいない

F 7-2 F 7-1で「1」～「4」を選んだ方は、

一番上のお子さまの年齢、一番下のお子さまの年齢をご記入ください。

一番上のお子さまの年齢 \_\_\_\_\_ 歳                  2人以上の方：一番下のお子さまの年齢 \_\_\_\_\_ 歳

【以下、質問です。該当する回答の数字を○で囲んでください。】

**問1** 結婚についてあなたの考えに近いものを1つ選んでください。(1つに○)

1. 結婚は必ずすべきだ
2. 結婚はしたほうがよい
3. 結婚はしなくても一緒に生活するパートナーはいたほうがよい
4. 結婚や一緒に生活するパートナーはいなくても恋人はいたほうがよい
5. 結婚や一緒に生活するパートナー、恋人は必ずしも必要でない
6. その他 ( )

**問2** あなたは、あなたご自身の結婚の時期について、どのように考えていますか。  
あてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

1. 現在、結婚している
2. すぐにでも結婚したい
3. 2～3年以内に結婚したい
4. いずれは結婚したい
5. 結婚するつもりはない → 「5」を選んだ方は**問8**へお進みください。
6. わからない

**問3** 結婚相手に求める条件（F5で「結婚経験あり」の方は「結婚相手に求めた条件」）は何ですか。  
あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 性格        | 2. 恋愛感情           |
| 3. 健康        | 4. 趣味             |
| 5. 職種        | 6. 学歴             |
| 7. 容姿        | 8. 経済力            |
| 9. 家事能力      | 10. 親の同意          |
| 11. 年齢       | 12. 自分の仕事に対する理解   |
| 13. 自分の親との同居 | 14. 自分と共通の価値観     |
| 15. その他 ( )  | 16. 結婚相手に求める条件はない |
- F5で「結婚経験あり」の方は**問4**へ、「未婚」の方は**問6**へお進みください。

**問4** F5で「結婚経験あり」の方にお聞きします。  
配偶者とどのようなきっかけで知り合いましたか。  
次の中からもっともあてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

1. 学校
2. 学校以外のサークルやクラブ活動・習い事
3. 職場や仕事の関係
4. 幼なじみ・隣人関係
5. 地域やボランティア活動
6. 友人や兄弟（姉妹）を通じた紹介
7. 見合い（親や親戚・上司の紹介も含む）
8. 合コンやパーティー
9. 結婚相談所
10. 街中や旅行先
11. アルバイト先
12. インターネット
13. その他 ( )

**F5で「結婚経験あり」の方にお聞きします。**

問5

配偶者と交際を始める前、交際相手に会うことを期待してどのようなことを行っていましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1. 友人や兄弟(姉妹)に紹介を頼んだ
2. 職場の同僚や先輩に紹介を頼んだ
3. 合コンやパーティーに行った
4. インターネットを利用した
5. 趣味のサークルに入った
6. スキルアップや資格取得のための学校に通った
7. 親や親戚・上司に紹介を頼んだ
8. お見合いをした
9. 民間の結婚相談所を利用した
10. 地方自治体やNPOなどの団体の結婚相談所を利用した
11. その他 ( )
12. 特になにもしていない

次に **問8** へ  
お進みください。

問6-1

**F5で「未婚」の方にお聞きします。**

現在結婚していない理由を、次の中から3つまで選んでください。(3つまで〇)

1. まだ若いから
2. 必要性を感じない
3. 仕事(学業)に打ち込みたい
4. 趣味や娯楽を楽しみたい
5. 自由や気楽さを失いたくない
6. 仕事が忙しすぎるから
7. 適当な相手にめぐり会わない
8. 異性とうまくつきあえない
9. 結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない
10. 住宅のめどが立たない
11. 親や周囲が同意しない
12. 雇用が安定しない
13. 結婚するつもりがない
14. その他 ( )

問6-2

**問6-1で「9」を選んだ方にお聞きします。**

結婚や結婚後の生活に係る費用の中で負担が大きいと感じるものは何ですか。  
負担の大きいものから3つまで選んで、順に番号を記入してください。

1. 挙式や新生活の準備のための資金
2. 結婚生活のための住居取得費
3. 結婚後の生活に係る費用
4. 子どもが生まれた場合の子育てや教育に係る費用
5. その他 ( )

1位 ( )      2位 ( )      3位 ( )

問7

**F5で「未婚」の方にお聞きします。**

異性と交際する上での不安はありますか。  
不安がある場合はあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1. 気になる異性がいても、どのように声をかけてよいかわからない
2. どうしたら親しい異性と恋人になれるのかわからない
3. 恋愛交際の進め方がわからない
4. 異性との交際がなんとなくこわくて、交際に踏みきれない
5. 過去の失恋経験からまた異性にふられるのではないかと思う
6. 自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う
7. 自分が恋愛感情を抱くことができるのか不安だ
8. そもそも異性との出会いの場所がわからない
9. その他 ( )

問8

**全員にお聞きします。**

結婚生活を送っていく上で不安に思っていること(思ったこと)は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

※F5で「未婚」の方は、結婚すると仮定してお答えください。(〇はいくつでも)

1. 配偶者と心が通わなくなる・不仲になること
2. 配偶者との家事分担
3. 配偶者の親族とのつきあい
4. 配偶者や自分の親の介護
5. 経済的に十分な生活ができるかどうか
6. 今までの仕事が続けられるか
7. 収入や仕事が安定しない
8. 自分の自由時間がとれなくなる
9. 出産・子育て
10. 子どもの教育やしつけ
11. 子どもが授かるか
12. その他 ( )
13. わからない

問9

**全員にお聞きします。**

近年の少子化の原因の一つに、未婚化、晩婚化の進行が挙げられています。未婚化、晩婚化の理由についてあなたはどのように思いますか。

次の中からあなたの考えに近いものを3つまで選んでください。(3つまで〇)

1. 独身生活のほうが自由だから
2. 結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなったから
3. 仕事のためには、独身のほうが都合がよいから
4. 仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上したから
5. 女性の仕事、育児に対する負担感、拘束感が大きいから
6. 社会慣行としての見合いが減少したから
7. 適当な相手にめぐりあう機会が少ないから
8. 若者の親離れ・親の子離れができていないから
9. 高学歴社会になったから
10. 若者の経済的自立が難しくなったから
11. 恋愛や交際に消極的な男性(いわゆる草食男子)が増えたから
12. その他 ( )

**問 1 0** 全員にお聞きします。  
結婚を支援する施策（事業）を県や市町村が取り組むことについてどのように思いますか。  
次の中からあなたの考えに近いものを1つ選んでください。（1つに○）

- 1. 積極的に取り組んで欲しい
- 2. どちらかといえば取り組んで欲しい
- 3. どちらかといえば取り組むべきではない
- 4. 取り組むべきではない
- 5. その他（ )

**問 1 1** 全員にお聞きします。  
結婚を支援する施策（事業）をNPOなどの民間団体や企業が取り組むことについてどのように思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを1つ選んでください。（1つに○）

- 1. 積極的に取り組んで欲しい
- 2. どちらかといえば取り組んで欲しい
- 3. どちらかといえば取り組むべきではない
- 4. 取り組むべきではない
- 5. その他（ )

**問 1 2** 問 1 0 または 問 1 1 で、「1」または「2」を選んだ方にお聞きします。  
特にどのような取り組みが必要だとお考えですか？  
あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

- 1. 公的結婚相談所の開設や相談会（各地域での個別相談会など）の開催
- 2. お見合いを設定する支援員等の設置
- 3. 出会いの機会の創出（パーティー、レクリエーションなど）
- 4. 出会いや結婚に必要な情報の提供
- 5. 結婚講座（交際術、ファッション、マナー等）
- 6. 親や地域住民を対象とする若い世代の結婚に関する講習会
- 7. 結婚費用や結婚後の住まい・暮らしへの支援
- 8. 雇用や収入の安定化のための施策
- 9. 社会全体で若者の自立や結婚を支援する意識づくり
- 10. その他（ )



問13-1

全員にお聞きします。

県では、結婚を希望する独身男女を支援するため、平成26年に「とやまマリッジサポートセンター」を開設し、出会いの場を提供していますが、「とやまマリッジサポートセンター」をご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

- 1. 知っていた
- 2. 知らない

とやまマリッジサポートセンターとは

結婚を希望する男女に出会いの場を提供する目的で、富山県が公益社団法人富山県法人会連合会に委託して運営しているものです。

<主なサービス>

- ・会員同士の個別マッチング（お見合い）  
 ※会員管理システムに自身のプロフィールを登録し、相手の情報を見て、会いたい方を探します。  
 マッチングが成立するとセンターが個別にお見合いをセッティング。お引合わせ時には、お見合いサポーターが同席します。
- ・結婚希望者向けスキルアップセミナー
- ・イベントやセミナーなど結婚に関する情報を掲載したメールマガジンの配信

<入会登録料> 10,000円（2年間有効）

問13-2

問2「2」～「4」（すぐにでも結婚したい、将来結婚したい）を選んだ方にお聞きします。

「とやまマリッジサポートセンター」を利用したいですか。  
 次の中から1つ選んでください。(1つに○)

- 1. 利用したい
- 2. 利用したくない →理由をお聞かせください（ ）
- 3. 現在、利用している（利用したことがある）
- 4. わからない

問14

全員にお聞きします。

結婚した女性の働き方についてご意見をうかがいます。あなたが女性の場合はあなたご自身の希望する働き方を、あなたが男性の場合は配偶者の方に希望する働き方を、結婚や子どもの状況別にそれぞれお答えください（○はそれぞれ1つずつ）

	1 フルタイムの仕事	2 短時間勤務制 パート・アルバイト	3 家でできる仕事※	4 仕事は持たず、 家事・育児に専念する
A) 結婚して子どもがいない時 →	1	2	3	4
B) 子どもが小学校入学前 →	1	2	3	4
C) 子どもが小学生以降 →	1	2	3	4

※家でできる仕事：データ入力、テープ起こしなど

問15

F5で「1. 結婚している」と答えた方にお聞きします。

あなた方ご夫婦にとって、理想的な子どもの数は何人ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上 ( 人)
6. 子どもはいらない

問16

F5で「1. 結婚している」と答えた方にお聞きします。

あなた方ご夫婦にとって、実際に持つつもりの子どもの数は何人ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上 ( 人)
6. 子どもはいらない

問17

F5で「2. 結婚していたが、死別・離別した」または「3. 今まで結婚したことはない」と答えた方にお聞きします。

あなたは、子どもは何人くらいほしいですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上 ( 人)
6. 子どもはいらない

問18

全員にお聞きします。

あなたは、国や自治体が、経済的支援や保育サービスの提供、仕事と子育ての両立支援といった現在の少子化対策を十分に拡充していけば、「子どもが欲しい」または「もう1人子どもが欲しい」という気持ちになると思いますか。

次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う



「1」か「2」を選んだ方は **問20** へお進みください

3. どちらかといえばそうは思わない
4. そうは思わない



「3」か「4」を選んだ方は **問19** へお進みください

問 19

問18で「3」か「4」を選んだ方にお聞きします。

あなたは、少子化対策を拡充しても、そのような気持ちにならないと思うのはどうしてですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 自分の趣味や時間を大切にしたいから
2. 夫婦の生活を大切にしたいから
3. 親となる自信が持てないから
4. 日々の生活が忙しく、自分や家族のことで精一杯だから
5. 子育ての苦労ばかり目につき、子育てへの抵抗感が強いから
6. 子どもを持つことが煩わしいから
7. 夫や家族の協力が得られず、育児が大変だから
8. 人間関係が複雑になるから
9. 今の子供の数で十分だと思うから
10. 年齢、体力的、医学的な事情があるから
11. パートナーがいない又はパートナーが子どもを欲しくないと考えているから
12. 子どもの数は少子化対策とは関係ないから
13. その他 ( )

問 20

全員にお聞きします。

行政が、結婚・出産・少子化対策に取り組む上で、どのような施策を拡充すべきと考えますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 児童手当の拡充や子育て減税などの経済的支援
2. 保育料・教育費等の支援、軽減
3. 育児休業の取得促進や長時間労働の是正など仕事と生活の調和がとれる働き方の見直し
4. 保育サービスや放課後児童クラブなど子どもの預け場所、居場所の整備
5. 子育て支援センターやファミリーサポートセンターなど地域における子育て支援事業の充実
6. 乳幼児連れでも外出しやすい街づくり
7. 不妊や不育症に関する相談窓口の整備や治療費助成制度の充実
8. 小児の救急医療体制の整備
9. 子どもの医療費にかかる経済的負担への支援
10. 多子世帯（子ども3人以上）に着目した子育て支援
11. 三世代同居や近居を進めるための施策の推進
12. 子育て不安解消のための相談窓口の充実
13. 親を対象にした子育て講座の充実
14. その他 ( )

結婚・出産、少子化対策について、どのようなことでも結構ですので、ご意見をお書きください。

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。